

3. クロス集計および分析結果

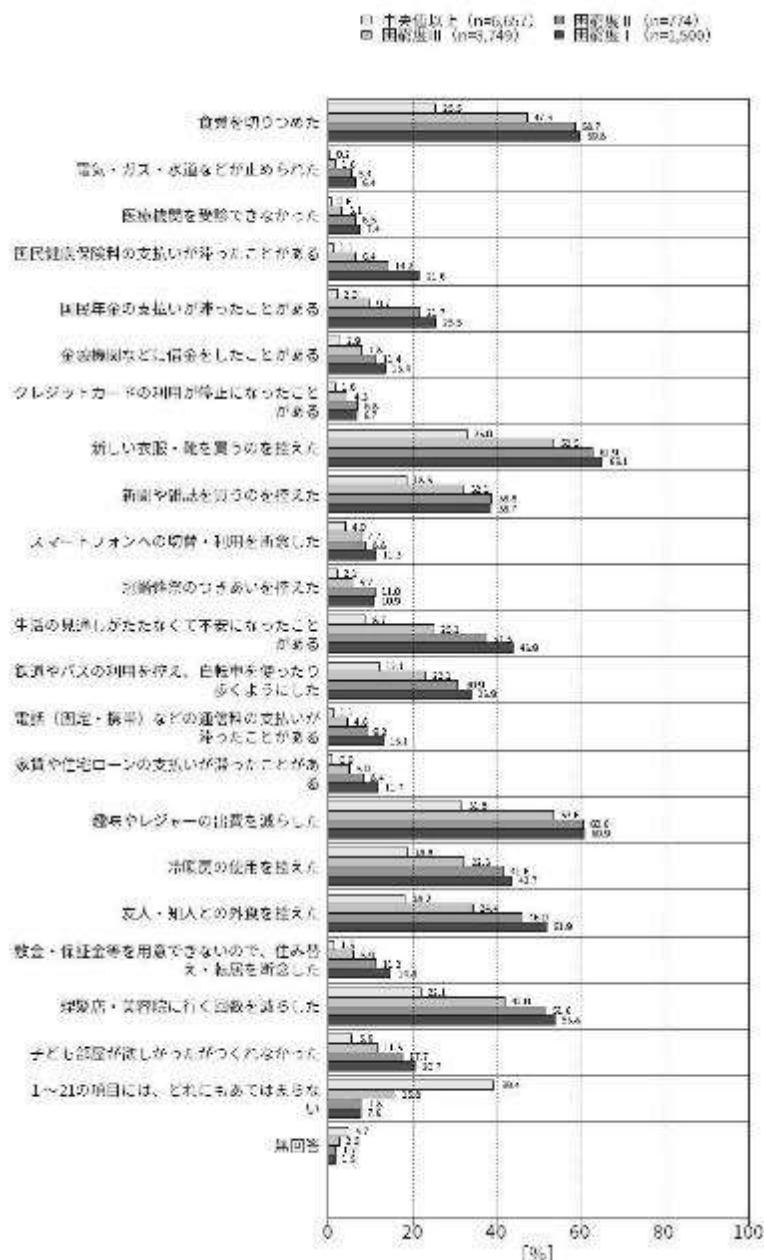
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪市 24 区の傾向については記述していないが、多くにおいて同様の傾向が見られる。(困窮度については、小中学生図 5 参照)

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（問 6）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

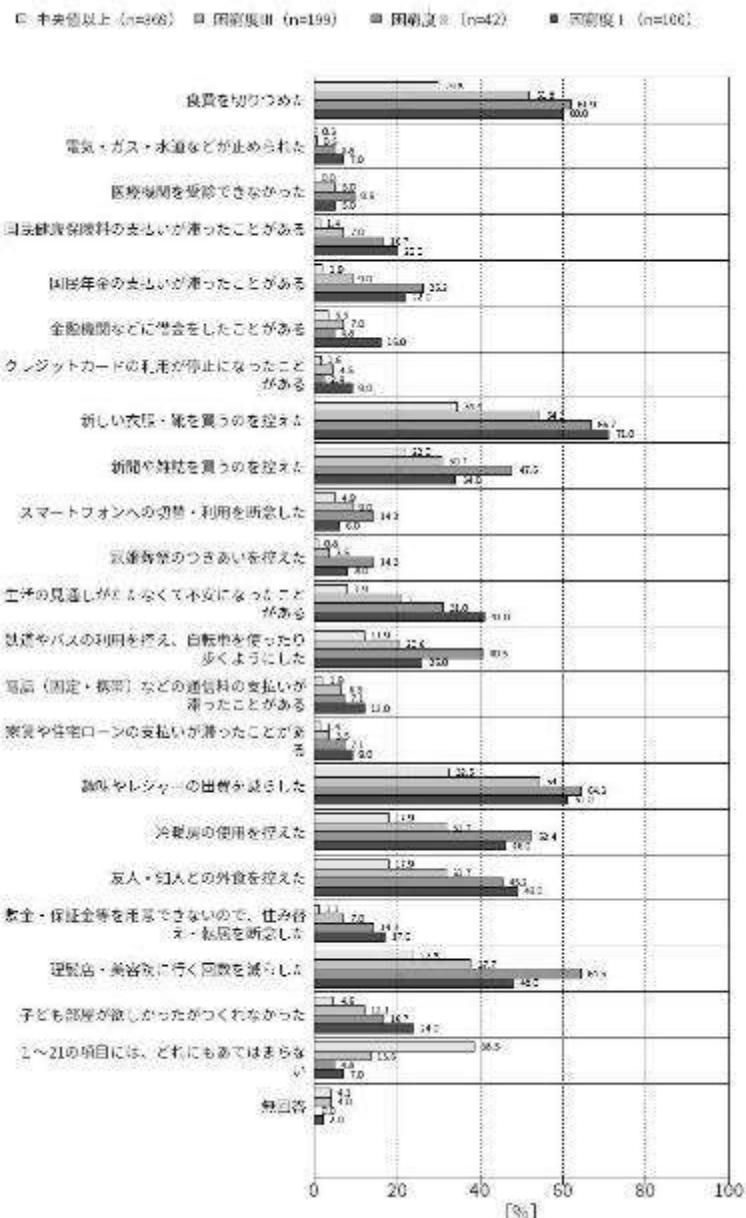
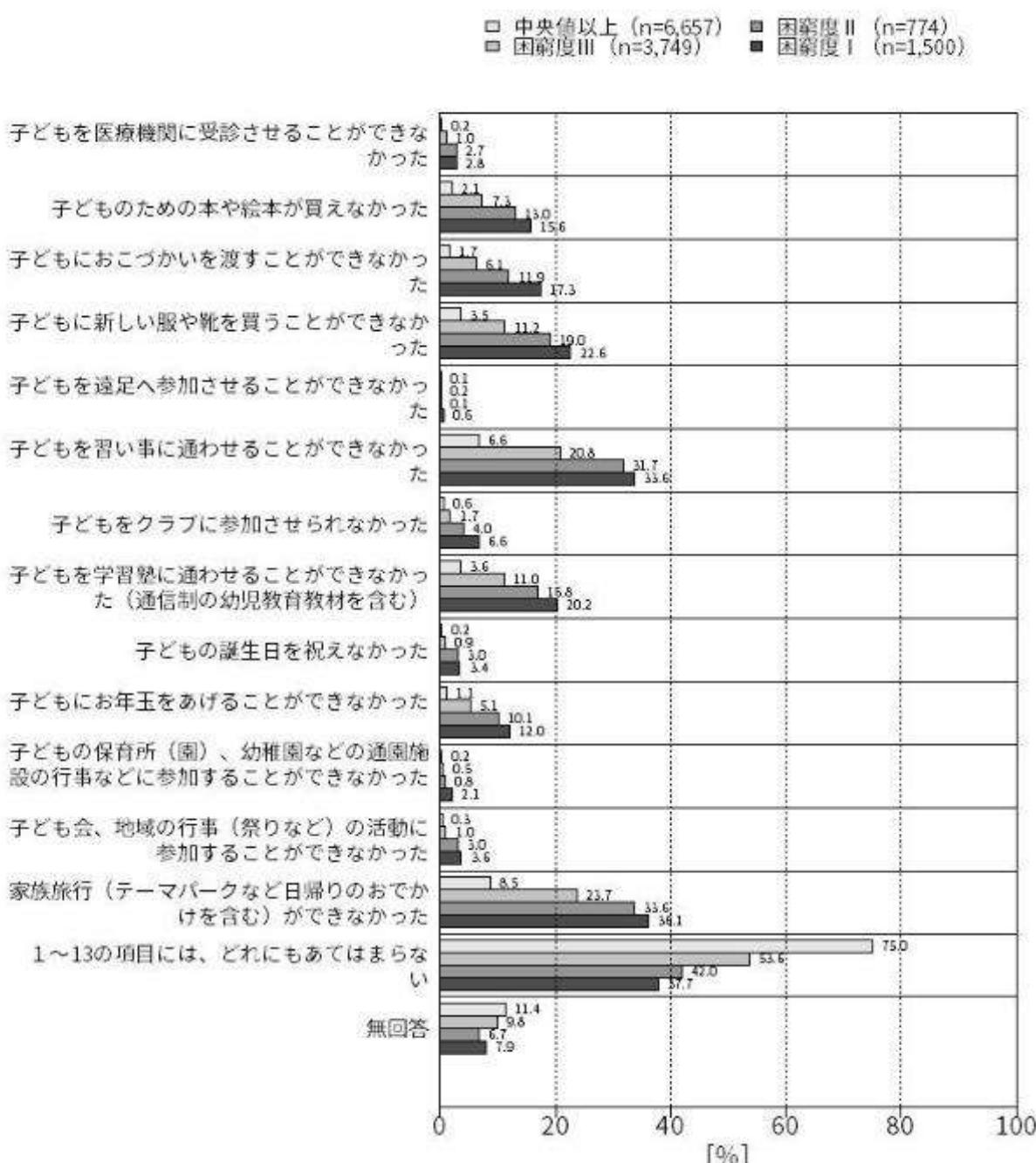


図 60. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度が高まるにつれて、できなかつたことが増えていた。また、困窮度 I 群では、中央値以上群に比べて、「子ども部屋が欲しかったがつくれなかつた」の割合が 5.2 倍、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」の割合が 5.2 倍、「金融機関などに借金をしたことがある」の割合が 4.8 倍となっていた。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（問29）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

□ 中央値以上 (n=369) □ 困窮度III (n=199) ■ 困窮度II (n=42) ■ 困窮度I (n=100)

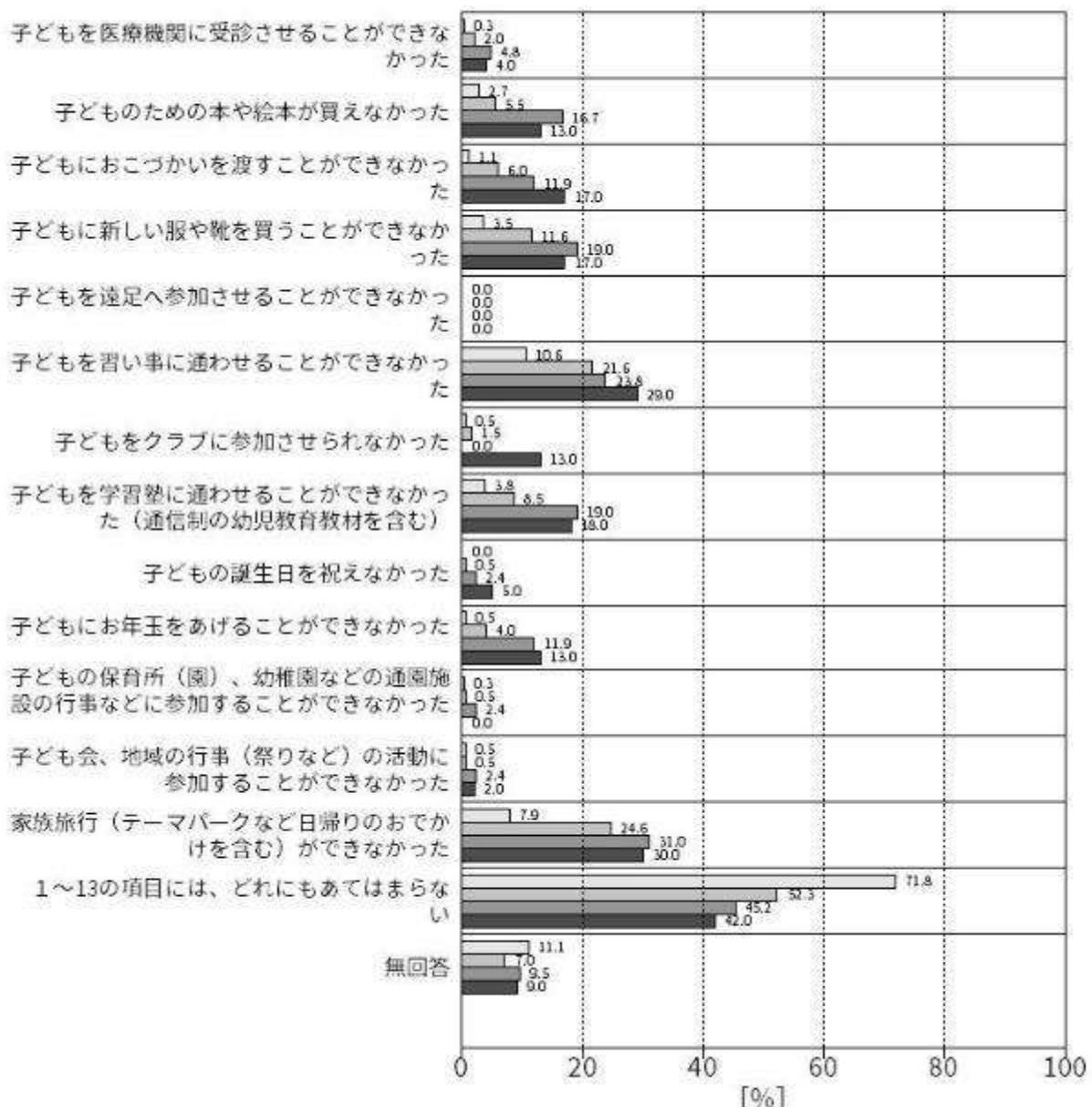
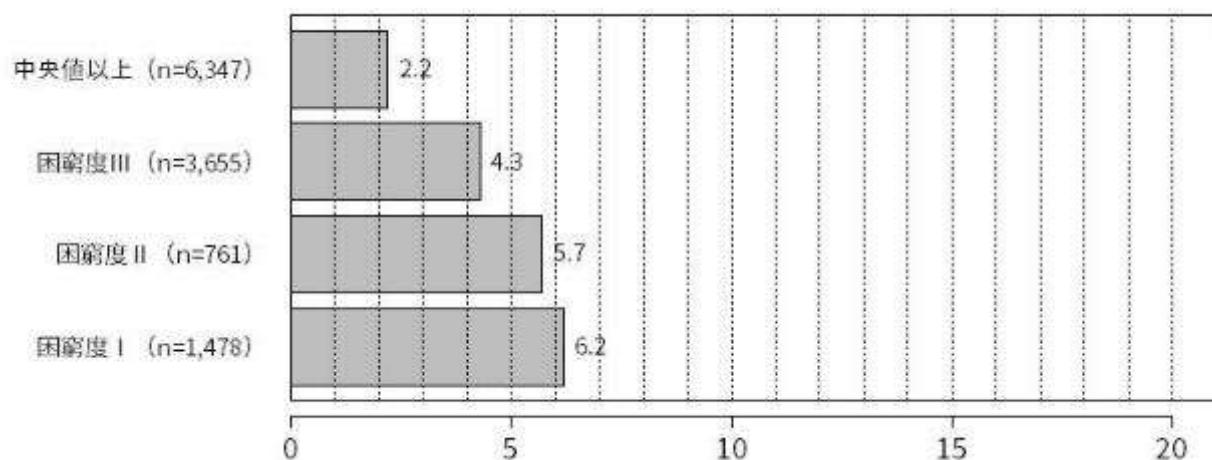


図 61. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度が高まるにつれて、できなかつたことが増えていた。また、困窮度I群では、中央値以上群に比べて、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかつた」の割合が4.9倍、「子どものための本や絵本が買えなかつた」の割合が4.8倍、「子どもを学習塾に通わせることができなかつた（通信制の幼児教育教材を含む）」の割合が4.7倍となっていた。

困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかつたこと（問6）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

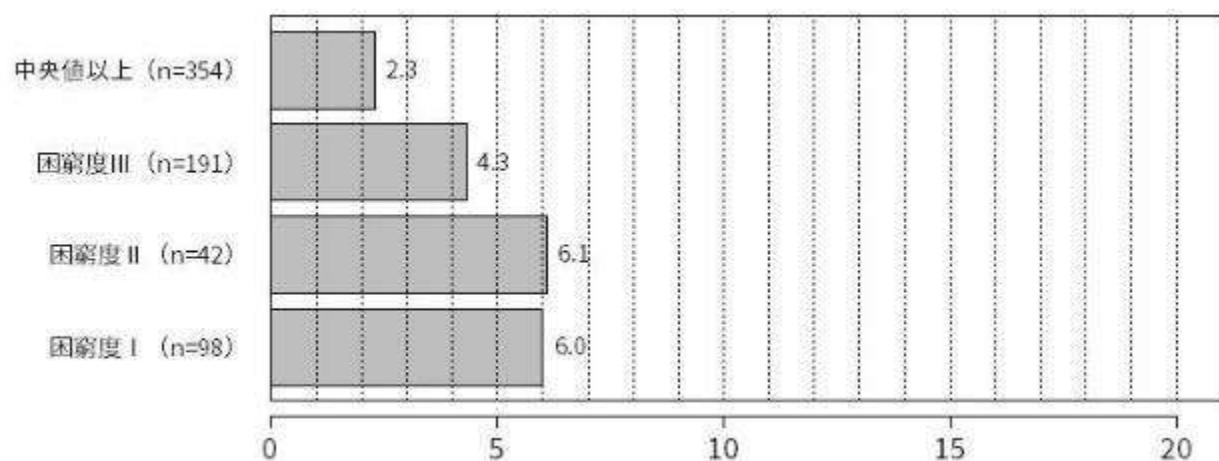
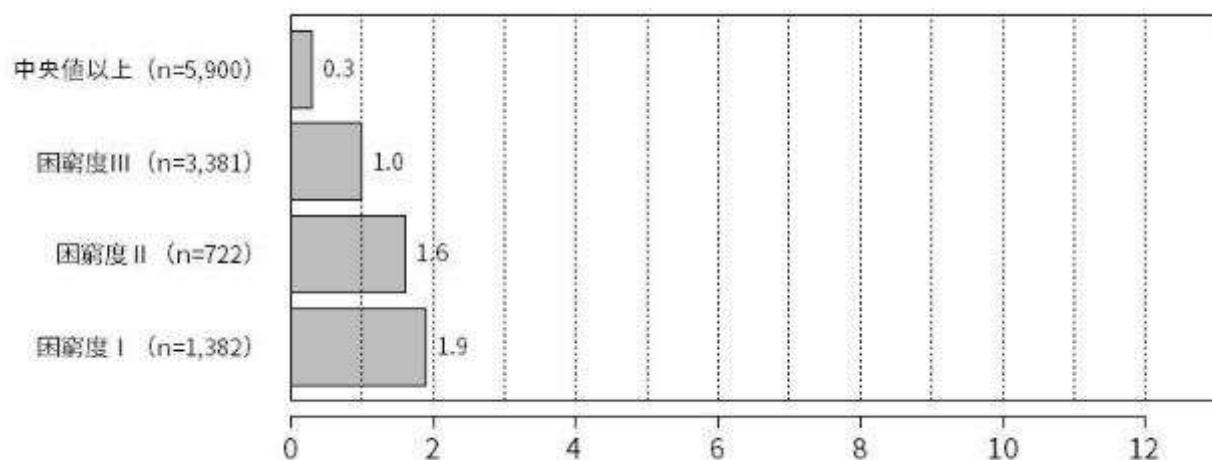


図62. 困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかつたこと

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。困窮度が高まるにつれて、該当事数が多くなる傾向にあり、困窮度I群では6.0個であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかつたこと（問 29）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

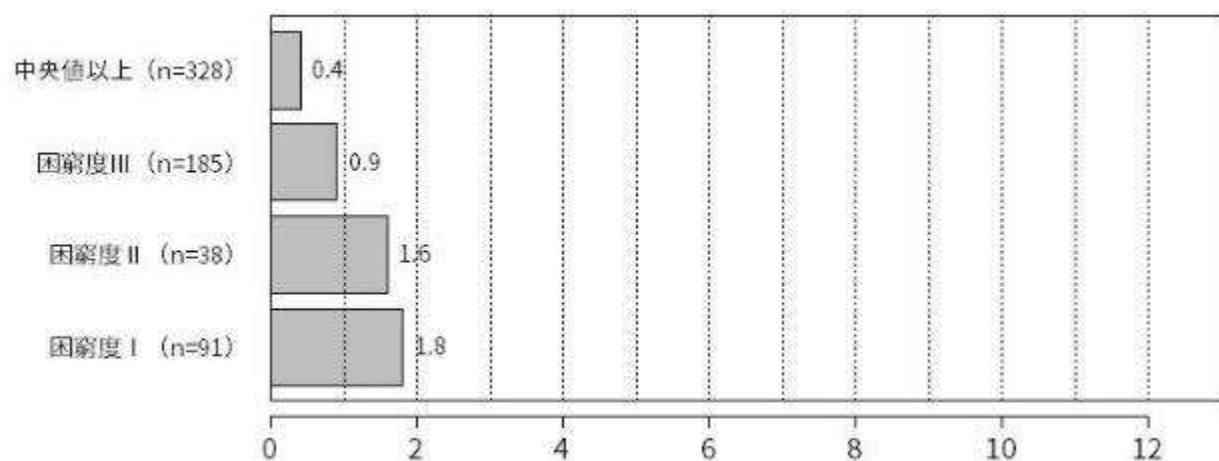
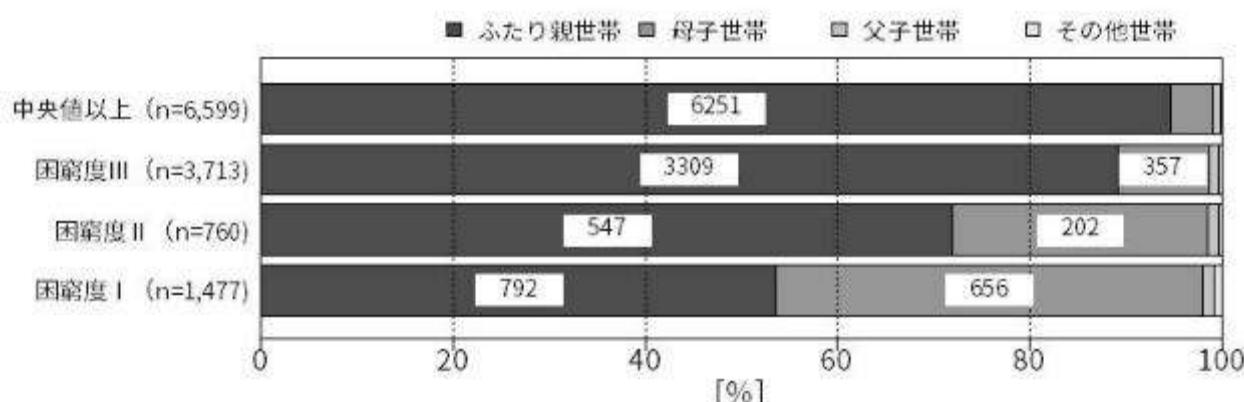


図 63. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかつたこと

困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度 I 群では 1.8 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（問3-2）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

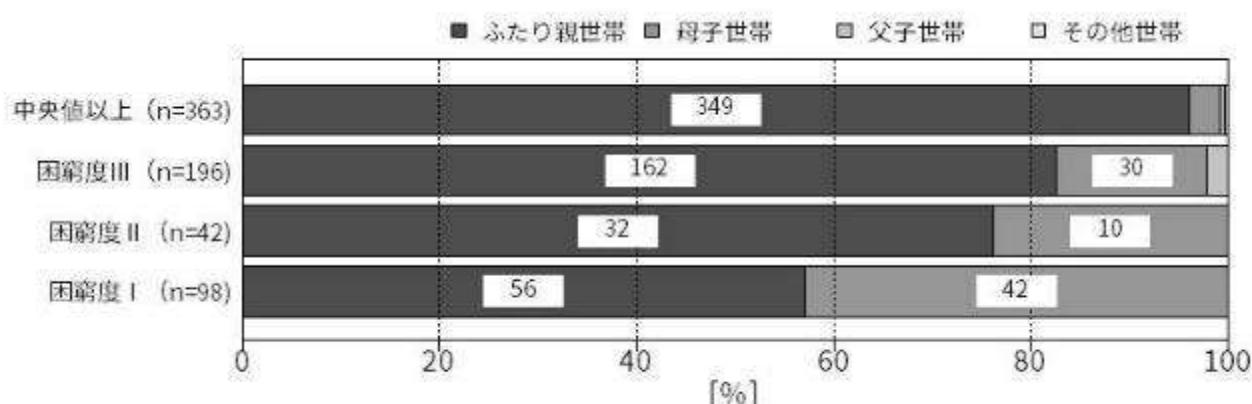
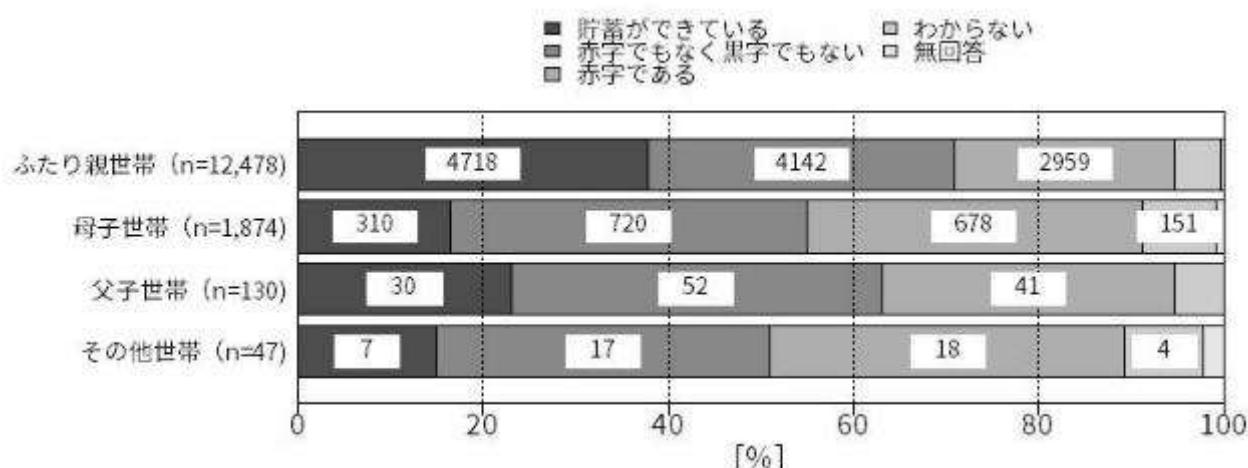


図64. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度が高まるにつれ、ふたり親世帯の割合が低くなり、母子世帯の割合が高くなる。困窮度I群では、「母子世帯」の割合が高くなっており、42.9%であった。

世帯構成別に見た、家計状況（問1×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

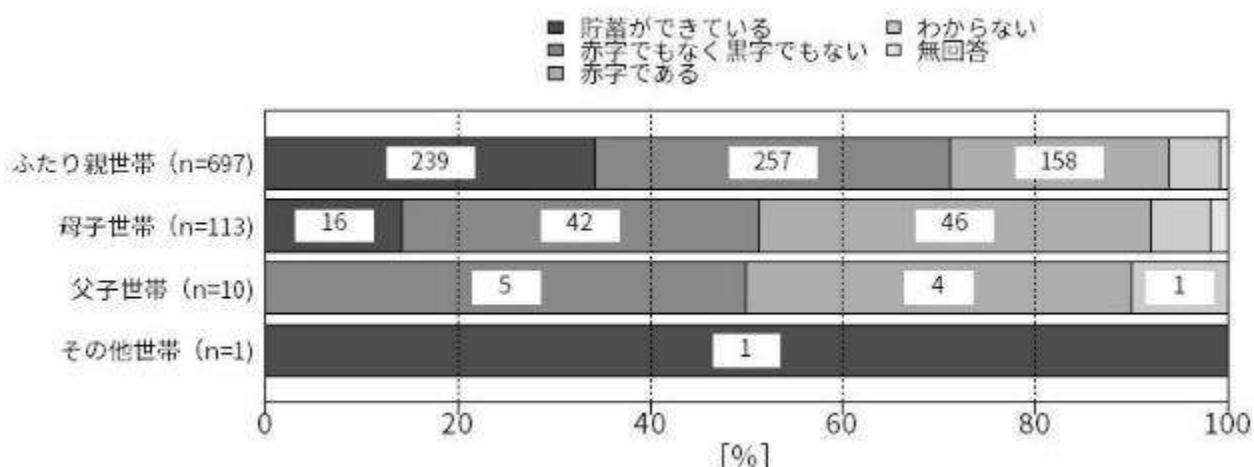
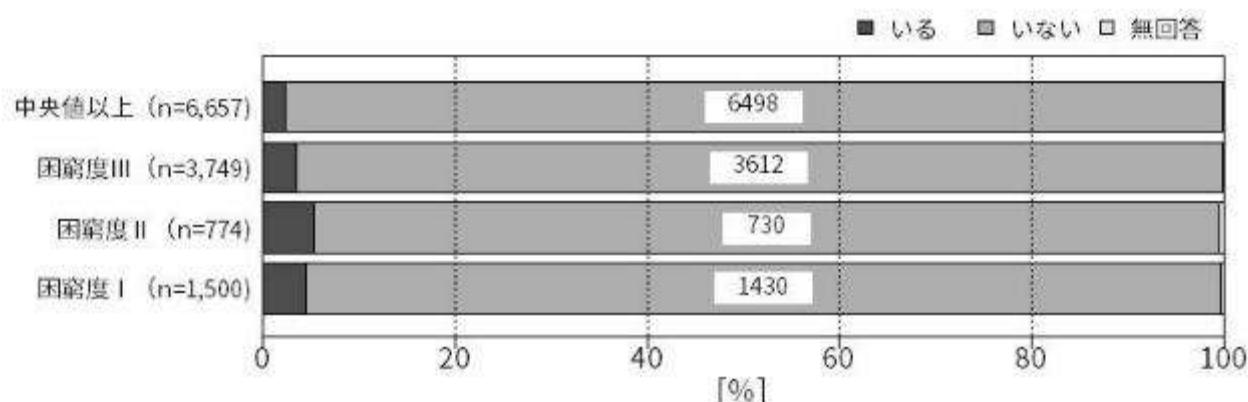


図 65. 世帯構成別に見た、家計状況

ふたり親世帯では34.3%が「貯蓄ができる」が、母子世帯では「赤字でも黒字でもない」「赤字である」が多い（それぞれ37.2%、40.7%）。父子世帯は人数が少ないので、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な人（問3-1-2）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

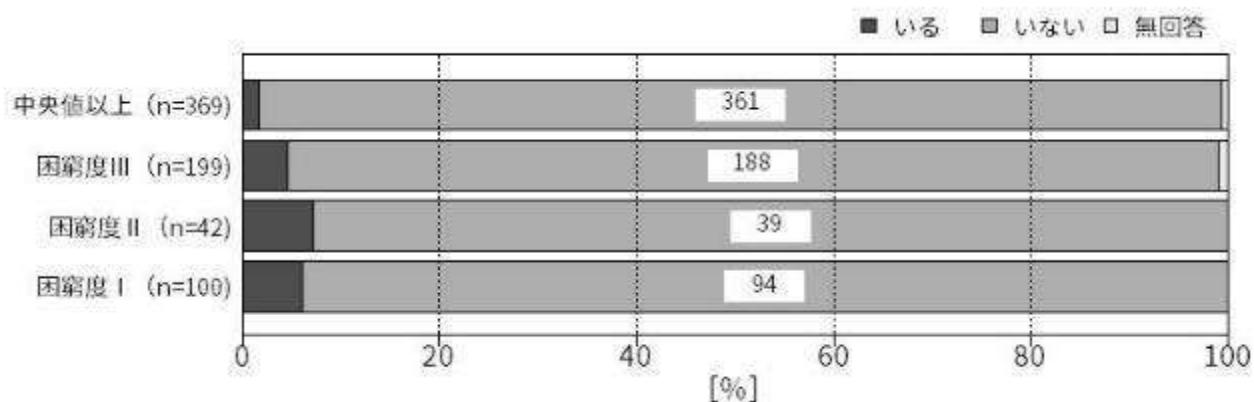
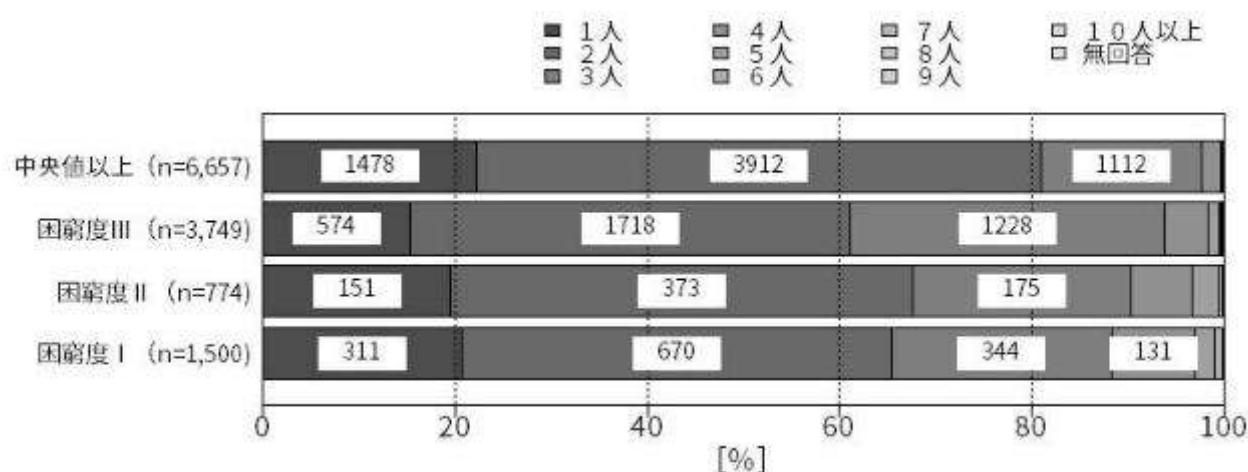


図66. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な人

困窮度が厳しくなるにつれて、介護・介助の必要な人がいる割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、子どもの人数（問 3-1-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

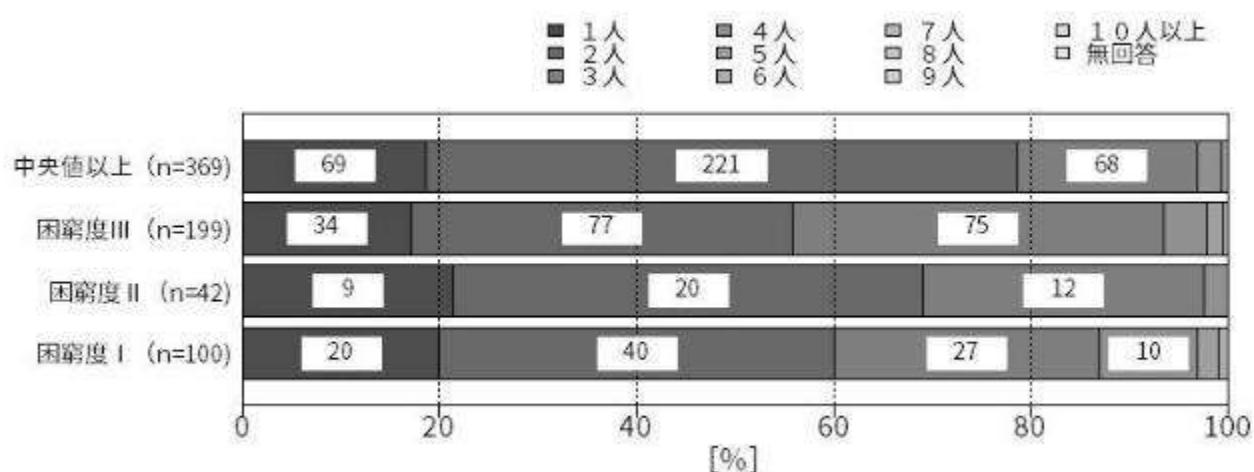
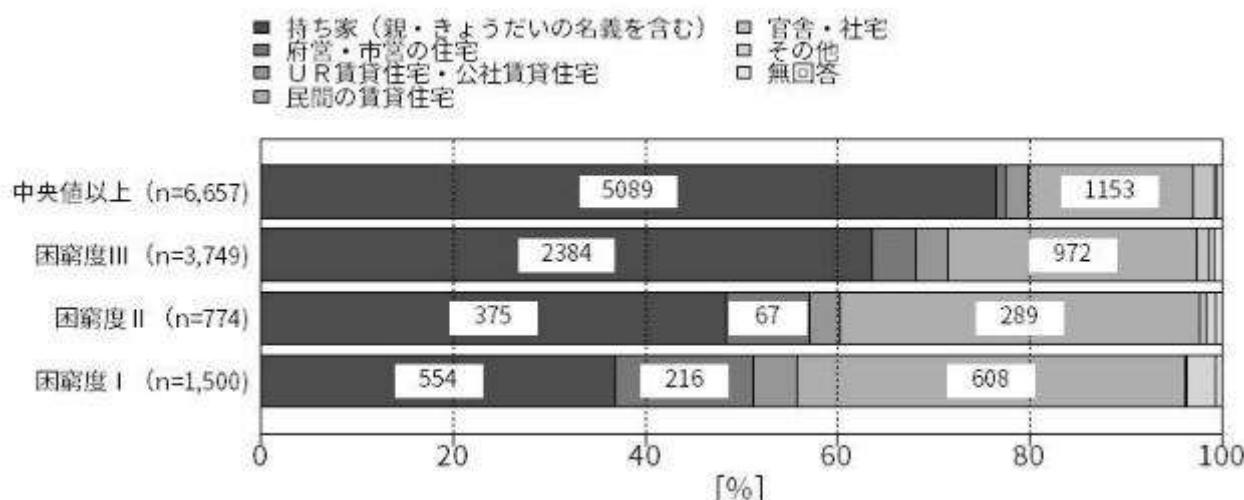


図 67. 困窮度別に見た、子どもの人数

中央値以上群に比べ、困窮度 I では、子どもの人数が 3 人以上の世帯が 40.0% を占めていた。

困窮度別に見た、住居（問4）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

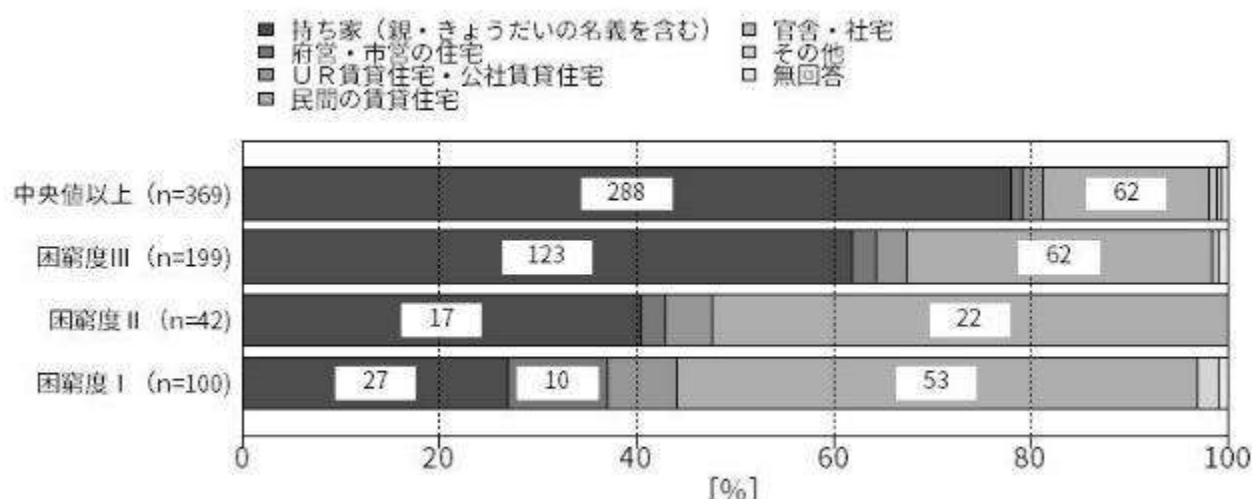
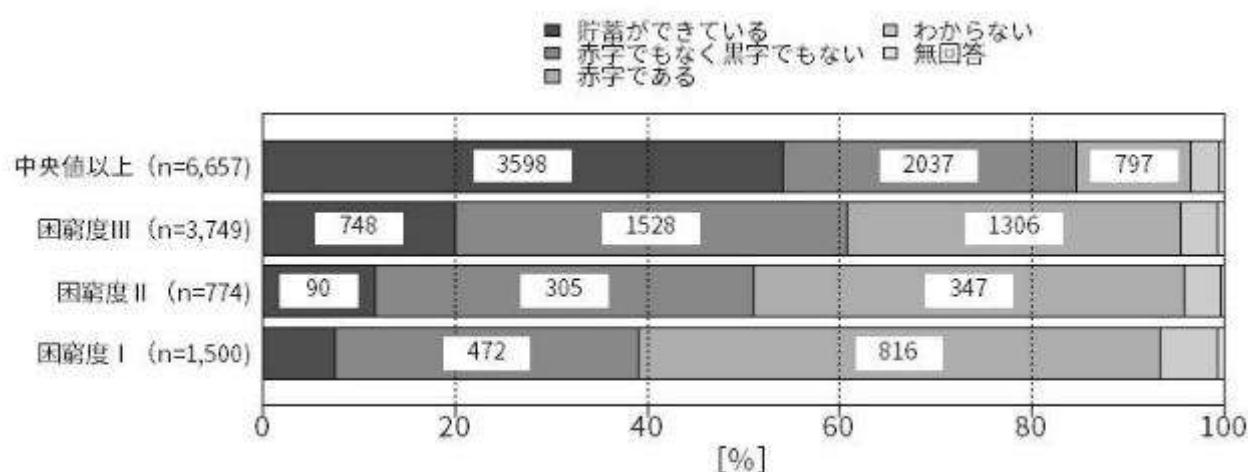


図68. 困窮度別に見た、住居

困窮度が高まるにつれて持ち家の保有率は低くなっている。困窮度I群では、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が7.0%（中央値以上群に対して3.2倍）、「民間の賃貸住宅」が53.0%（3.2倍）であった。

困窮度別に見た、家計状況（問 5-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

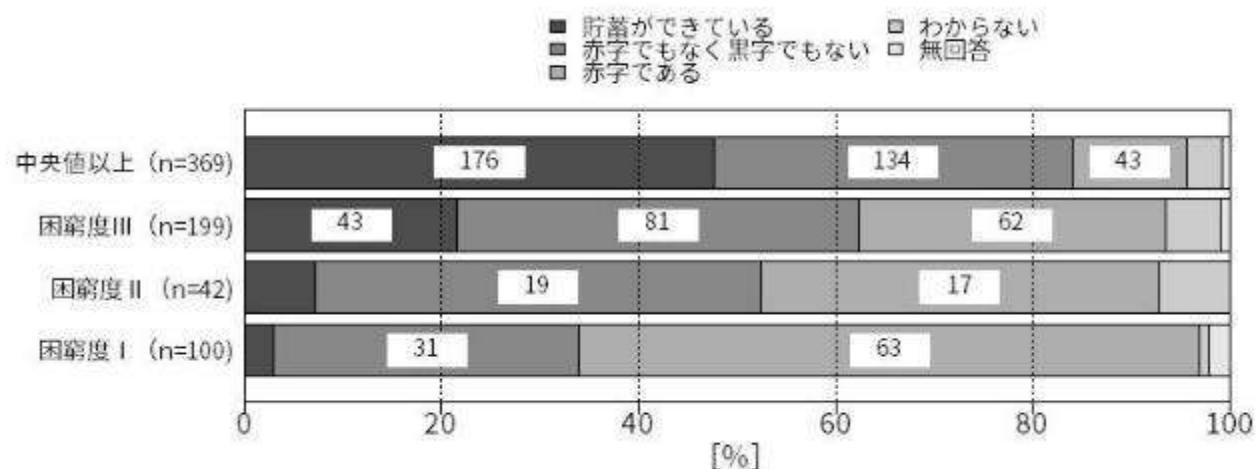
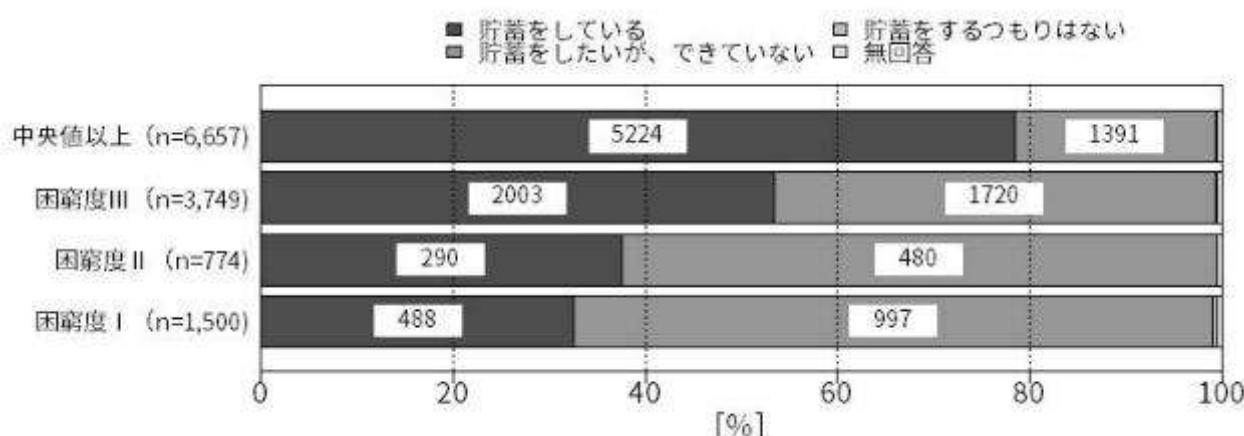


図 69. 困窮度別に見た、家計状況

困窮度が高まるにつれて、貯蓄ができる割合が低くなり、赤字である割合が高くなる。困窮度 I 群では、「赤字でもなく黒字でもない」が 31.0%、「赤字である」が 63.0% を占めていた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

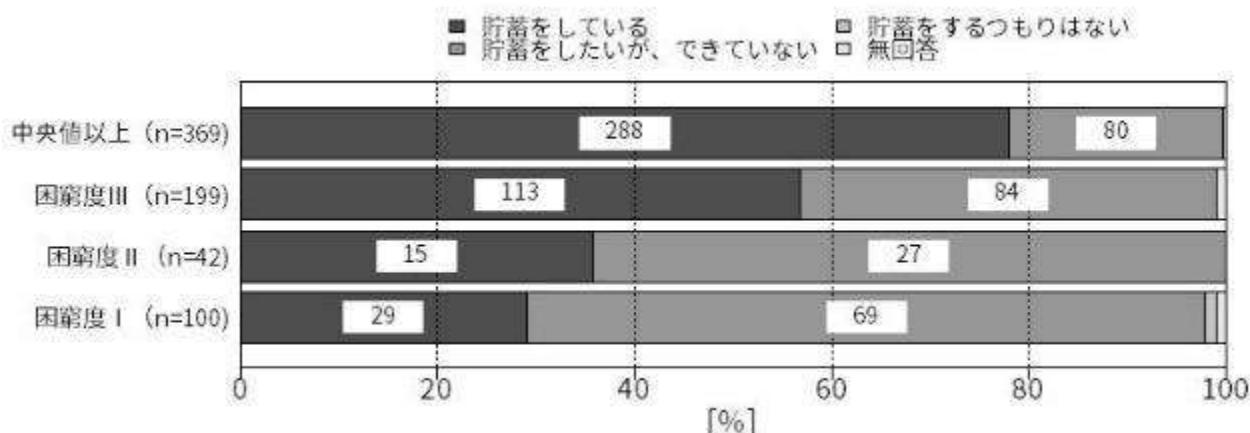


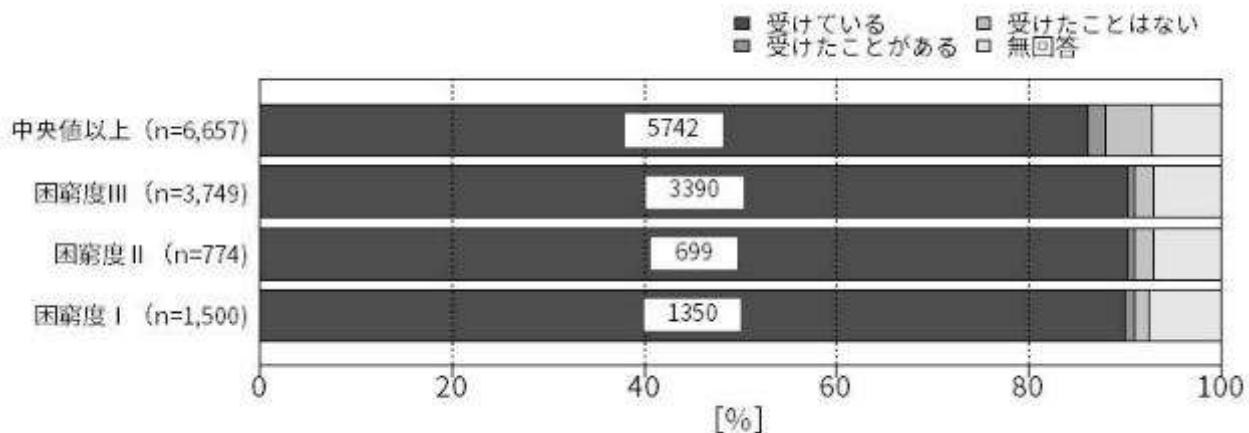
図70. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度が高まるにつれて、貯蓄をしている割合が低くなり、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答をした割合が高くなっている。困窮度I群では、「貯蓄をしたいが、できていない」が69.0%、「貯蓄をするつもりはない」が1.0%を占めていた。

(2)家庭状況(制度等)

困窮度別に見た、児童手当（問 41-3-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

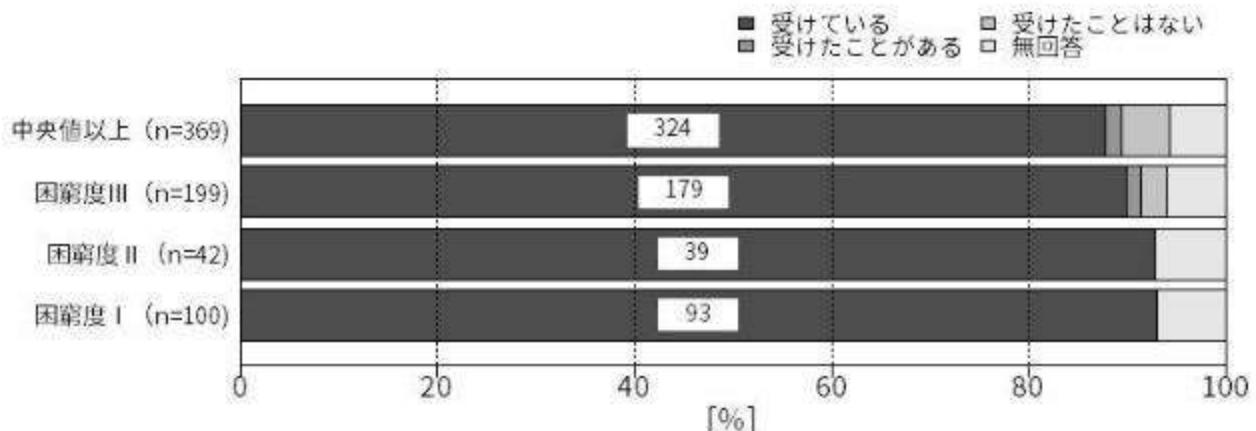
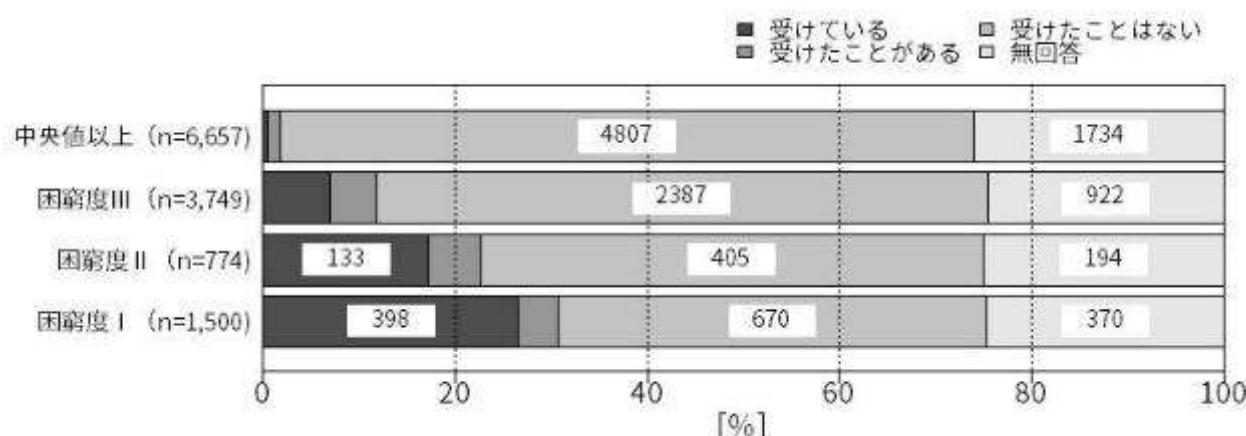


図 71. 困窮度別に見た、児童手当

中央値以上群以外の世帯では約 9 割以上の世帯が、児童手当を受けていた。

困窮度別に見た、就学援助（問 41-3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

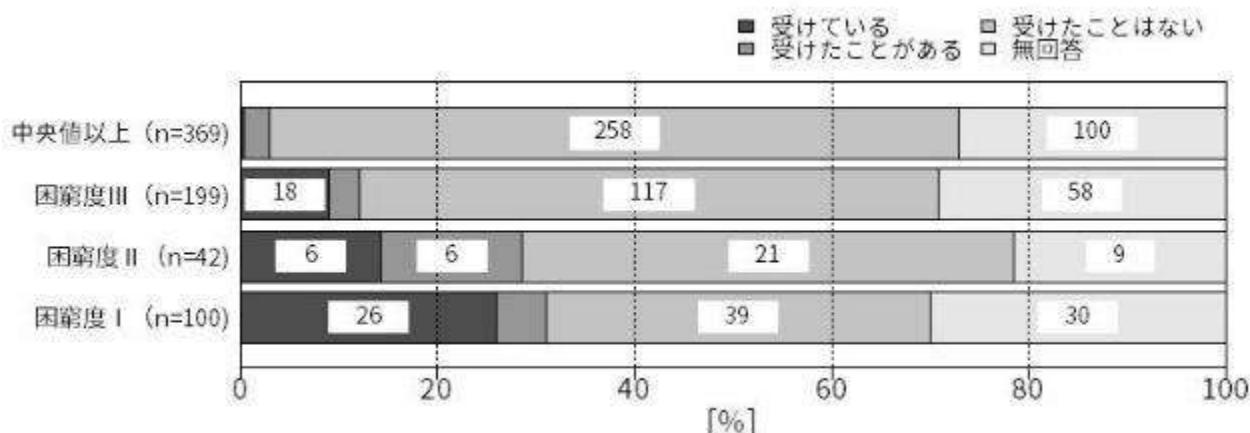
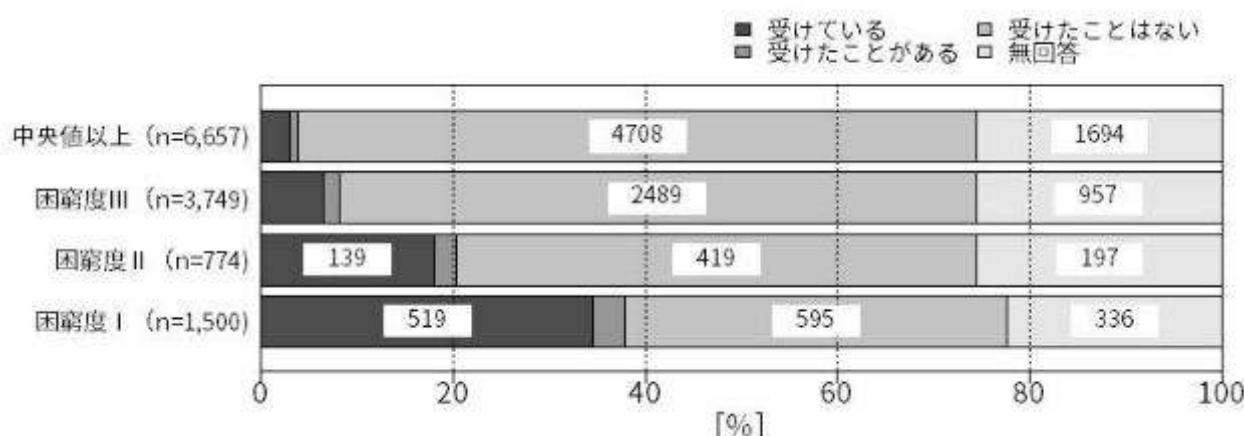


図 72. 困窮度別に見た、就学援助

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度 I 群においては 26.0% となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、児童扶養手当（問 41-3-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

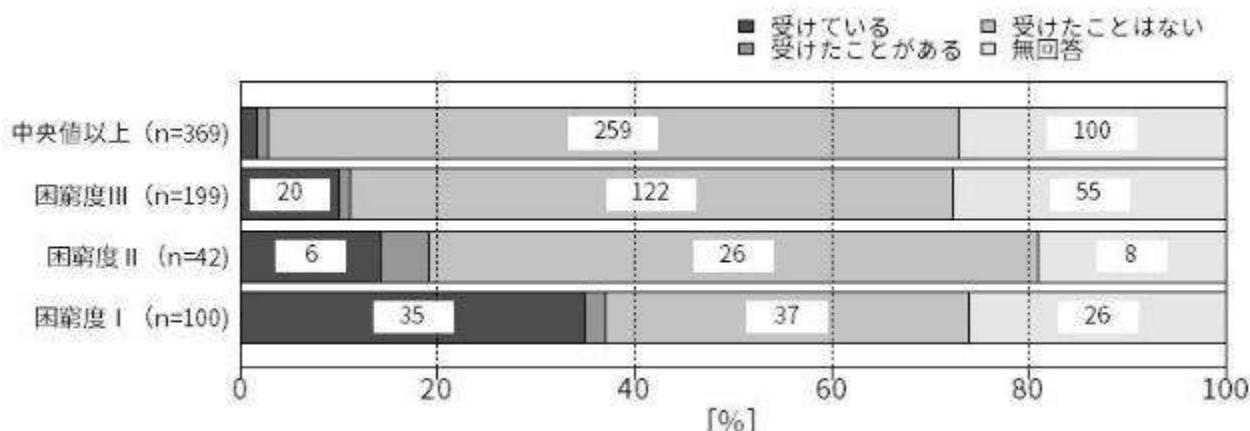
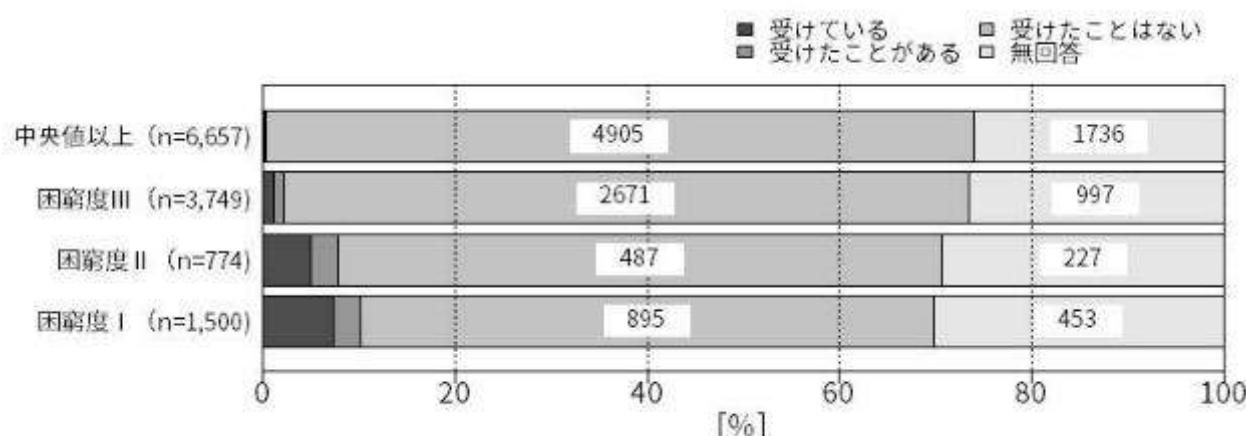


図 73. 困窮度別に見た、児童扶養手当

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度 I 群においては 35.0% となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、生活保護（問 41-3-5）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

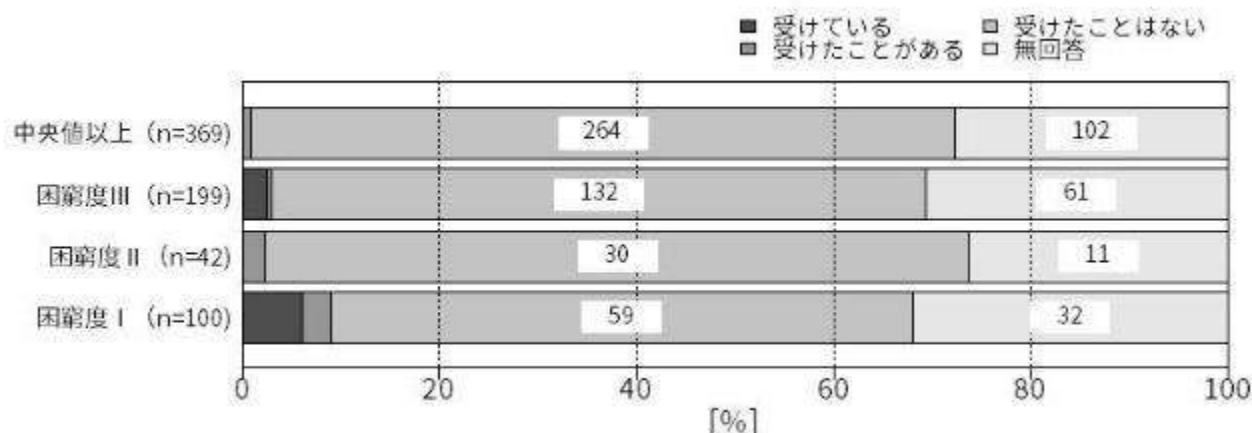
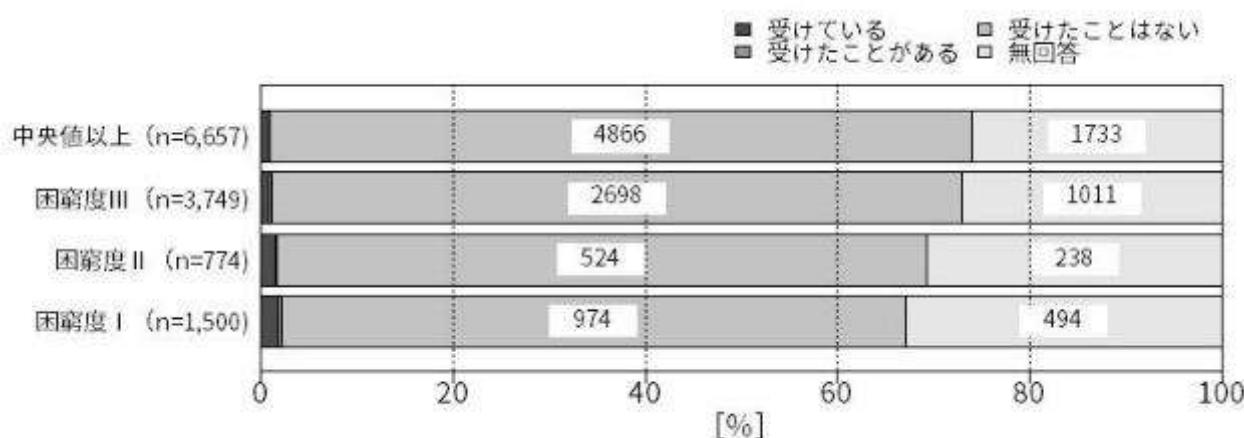


図 74. 困窮度別に見た、生活保護

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度 I 群においては 6.0% となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（問 41-3-7）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

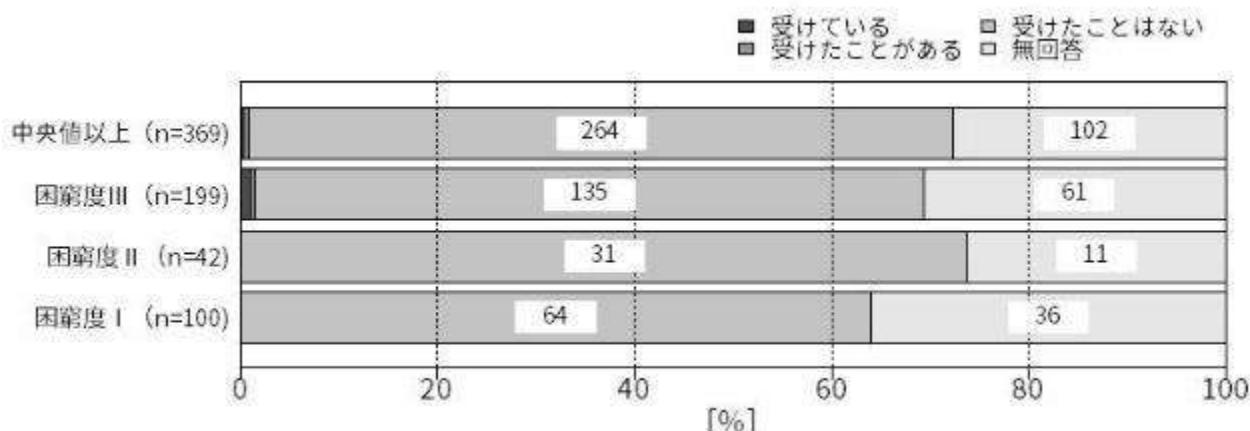
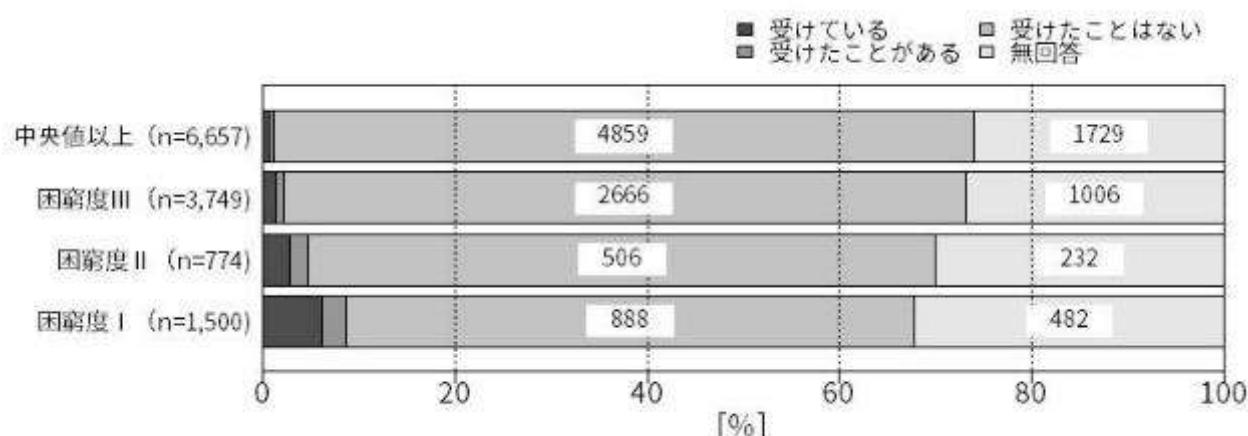


図 75. 困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度によって大きな差は見られなかった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、養育費（問 42-3-9）

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

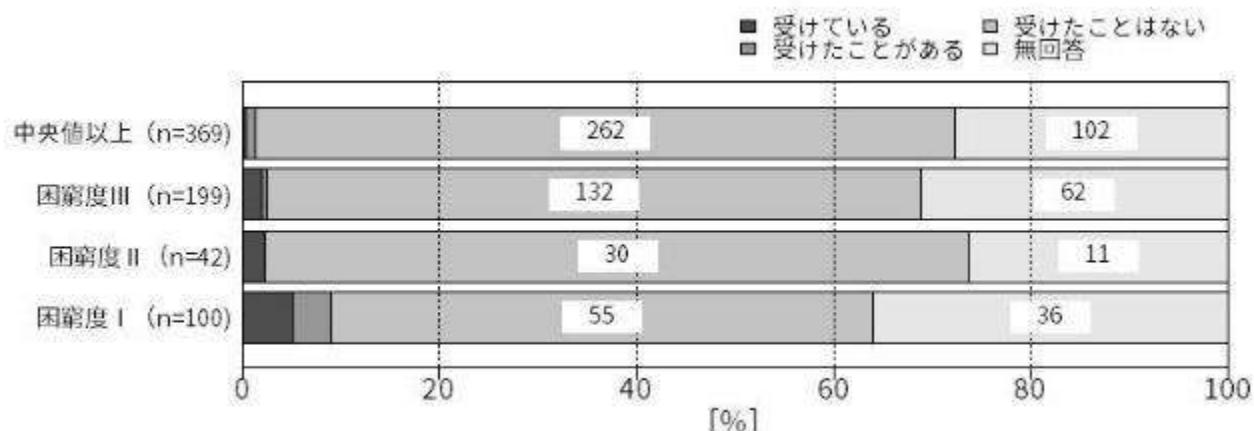
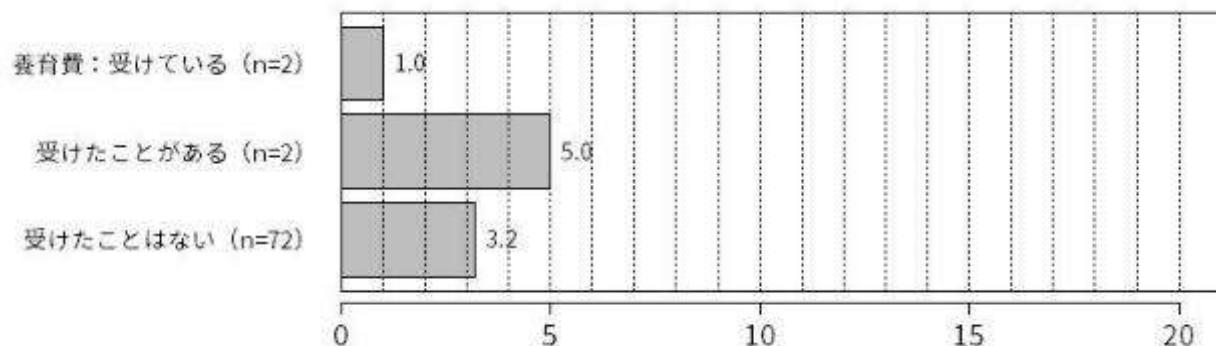


図 76. 困窮度別に見た、養育費

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度 I では、5.0%が受けている。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9 × 問 6）<父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

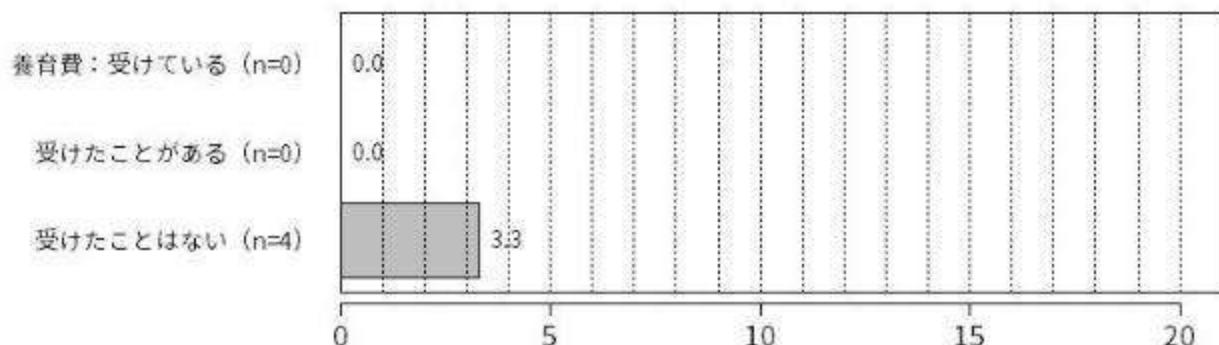
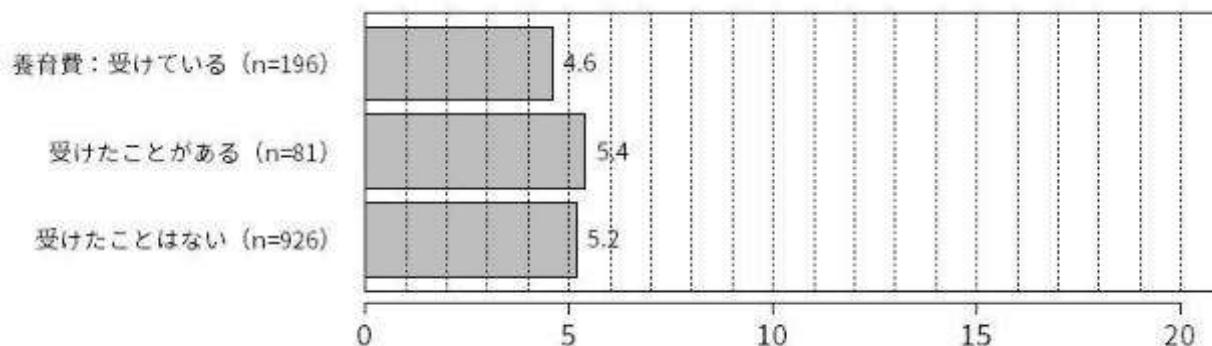


図 77. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9 × 問 6）<母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

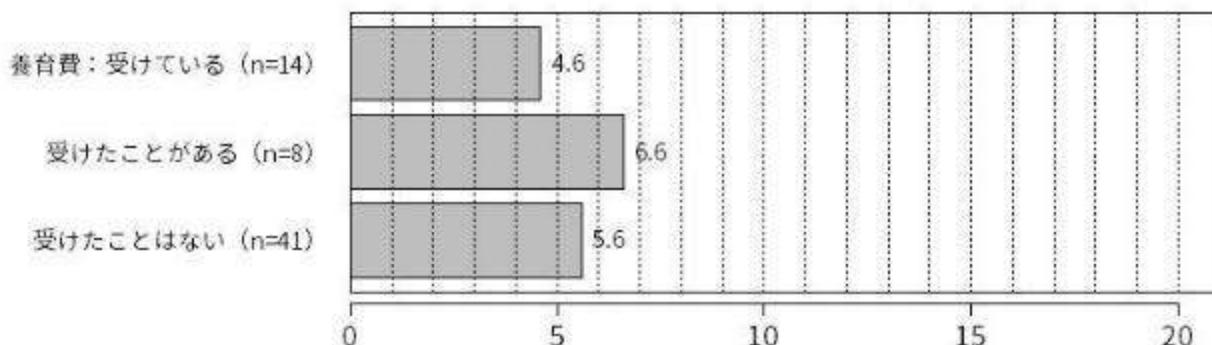
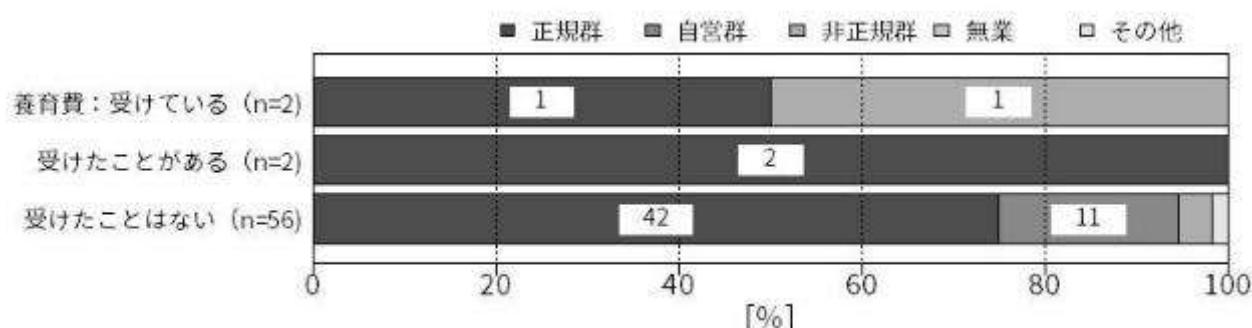


図 78. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均
<母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問30-3-9×問8）<父子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

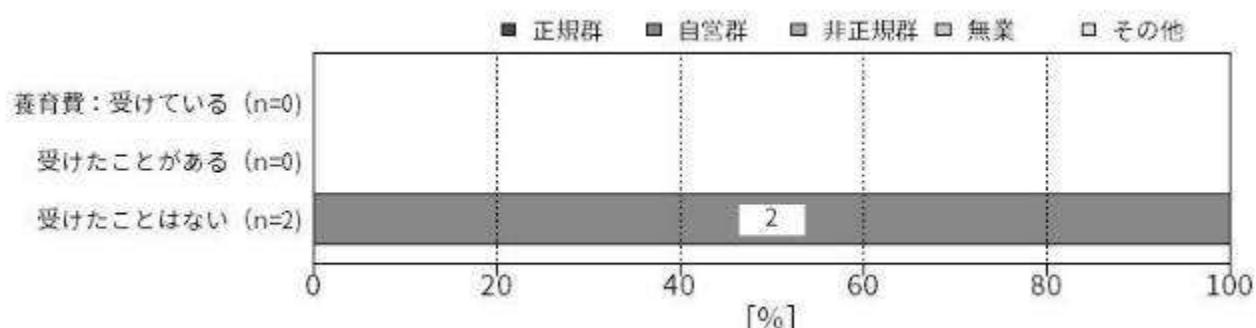
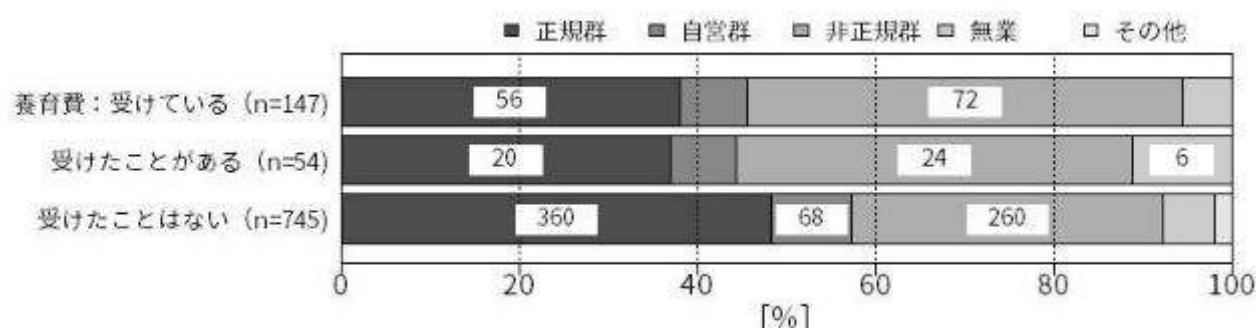


図79. 養育費の受給別に見た、就労状況<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問30-3-9×問8）<母子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

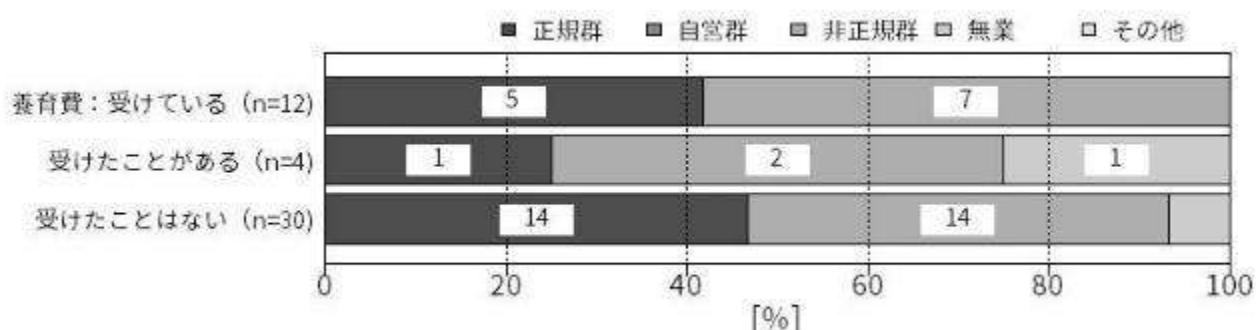
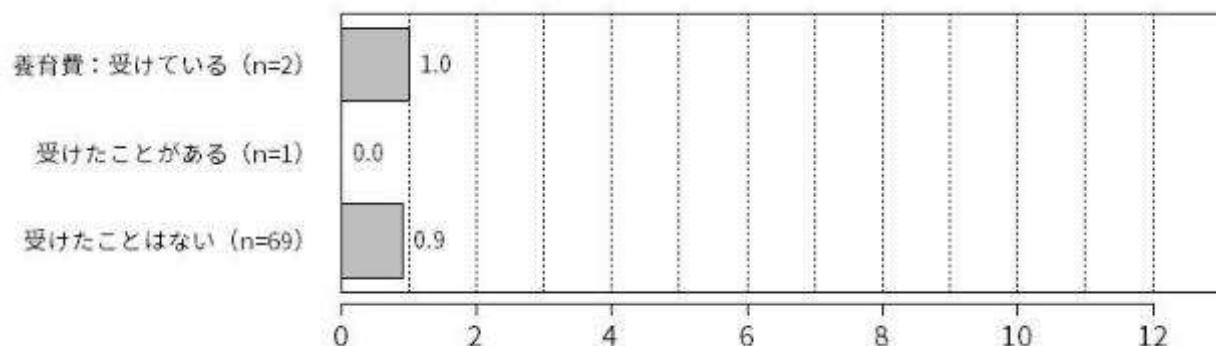


図80. 養育費の受給別に見た、就労状況<母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかつたこと（問 30-3-9 × 問 29）
 <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

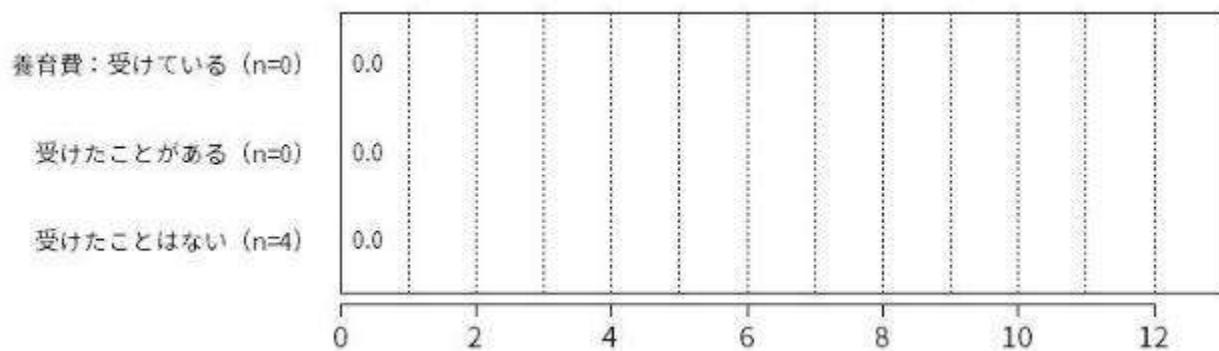
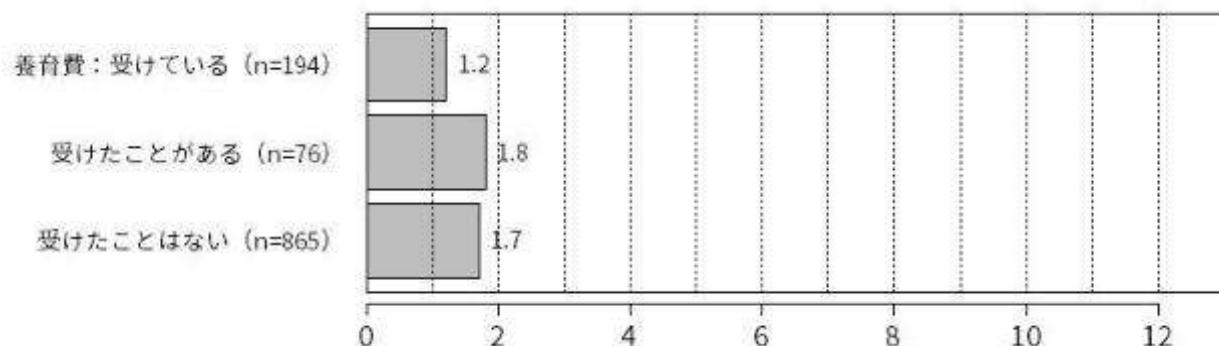


図 81. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかつたこと
 <父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかつたため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかつたこと（問 30-3-9 × 問 29）
 ＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東住吉区＞

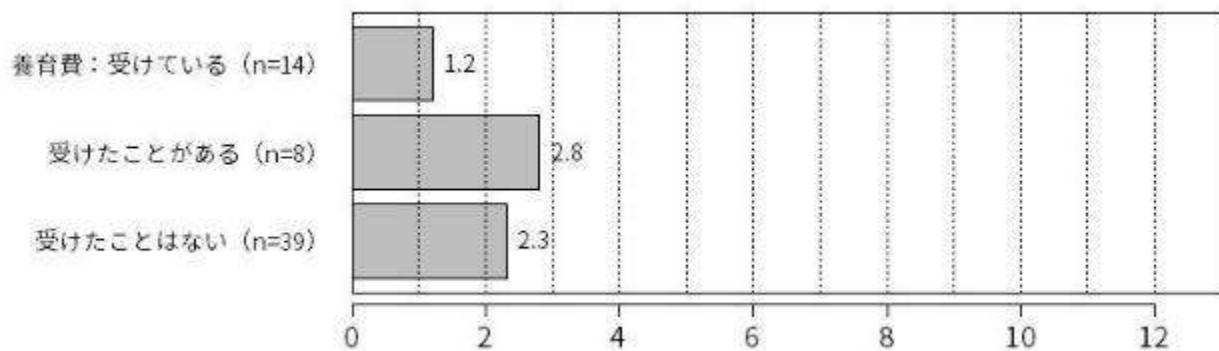
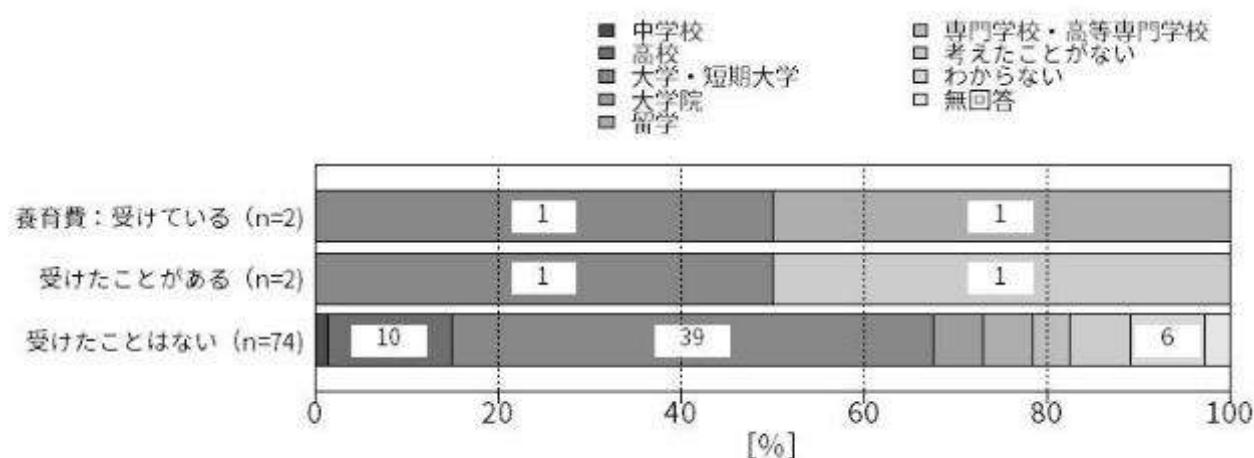


図 82. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかつたこと
 ＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないので、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問30-3-9×問32）<父子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

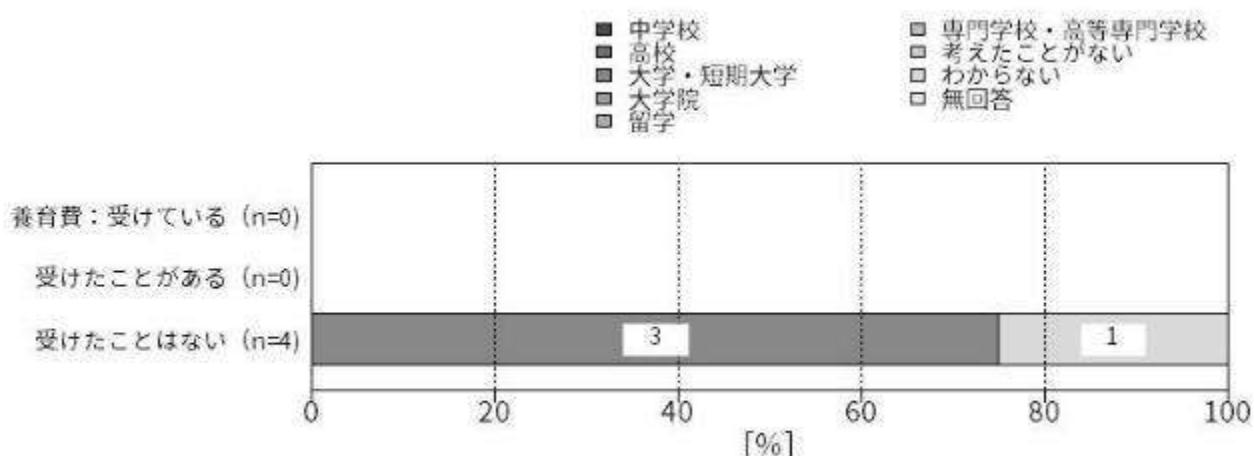
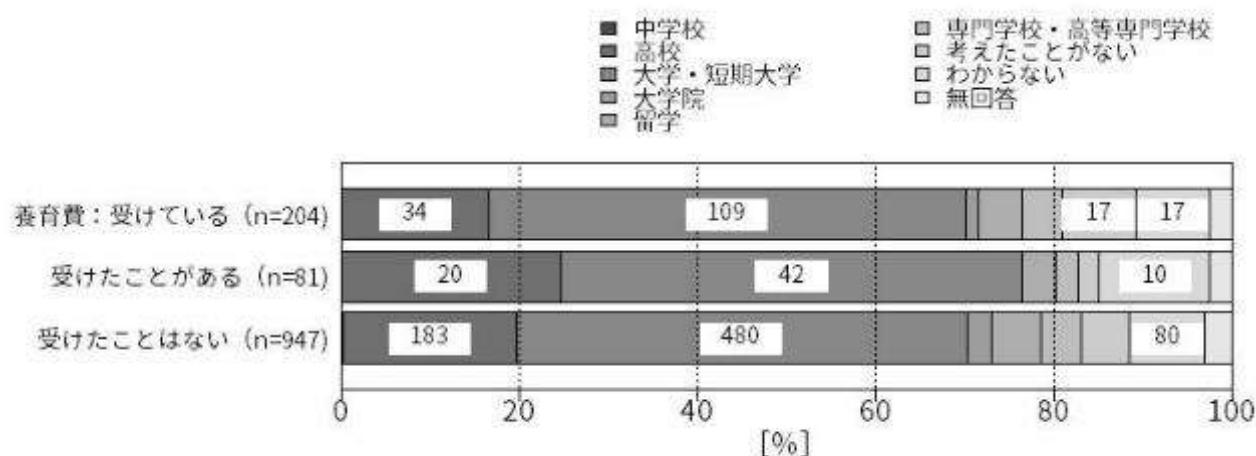


図83. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望
<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問30-3-9×問32）<母子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

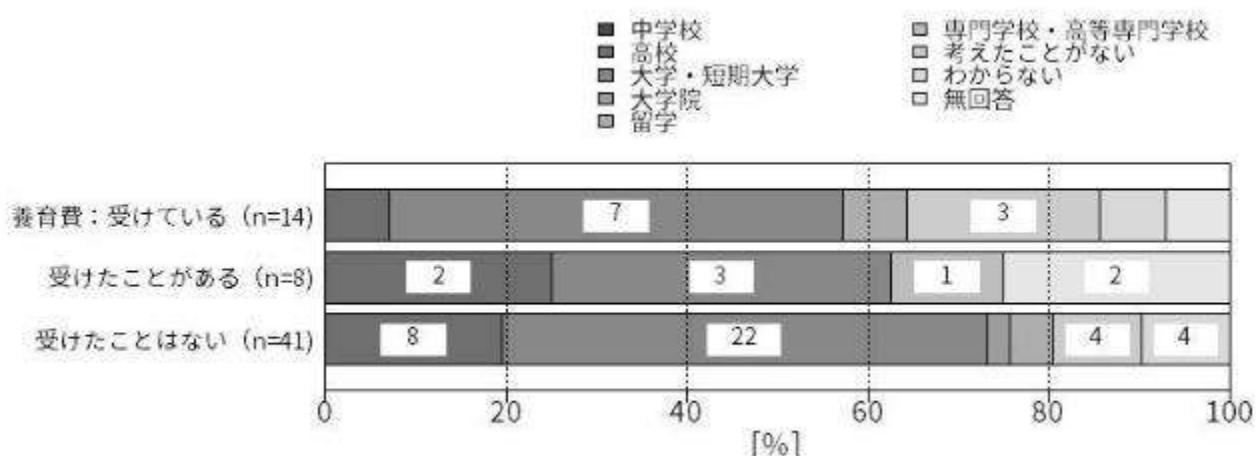


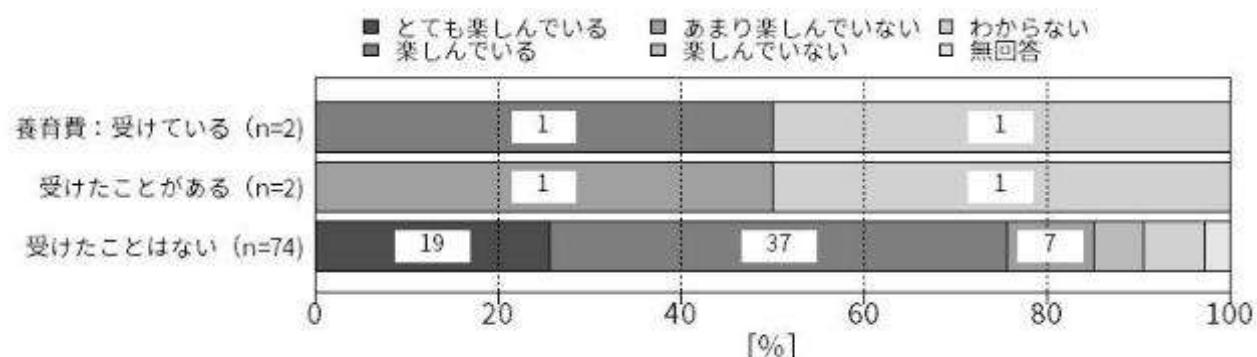
図84. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望

<母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないので、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問30-3-9×問36-1）<父子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

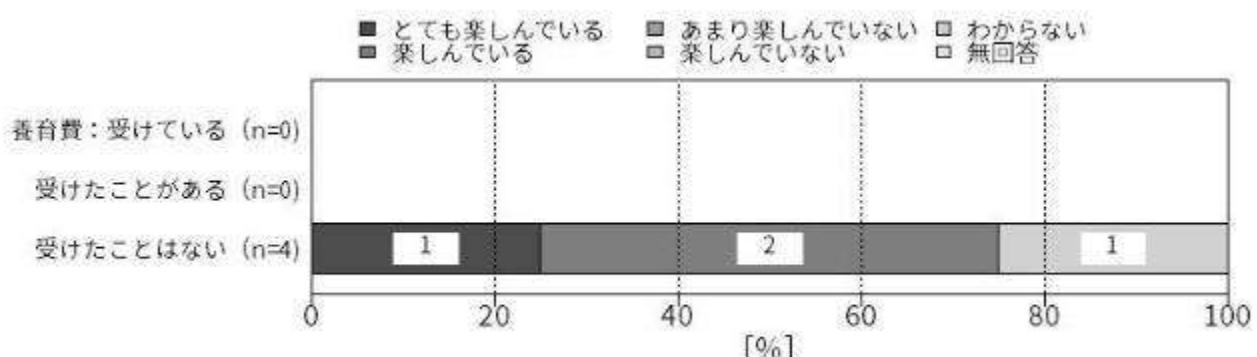
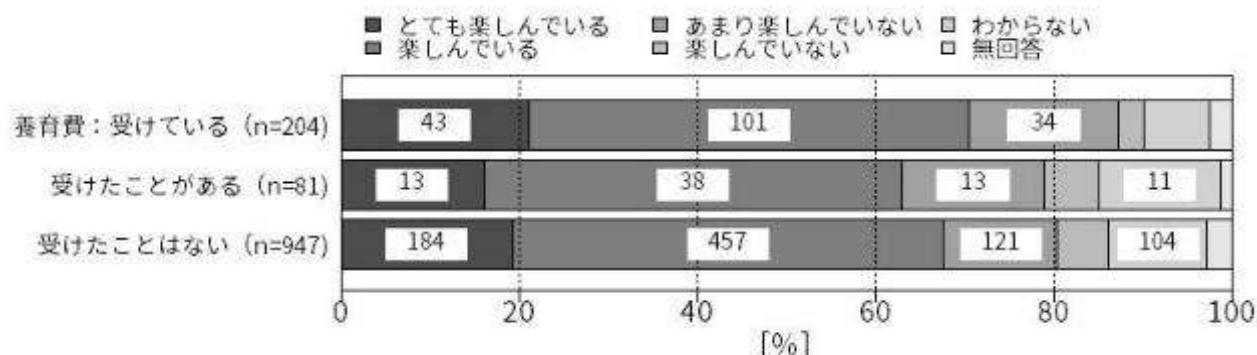


図85. 養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる
<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問30-3-9×問36-1）<母子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

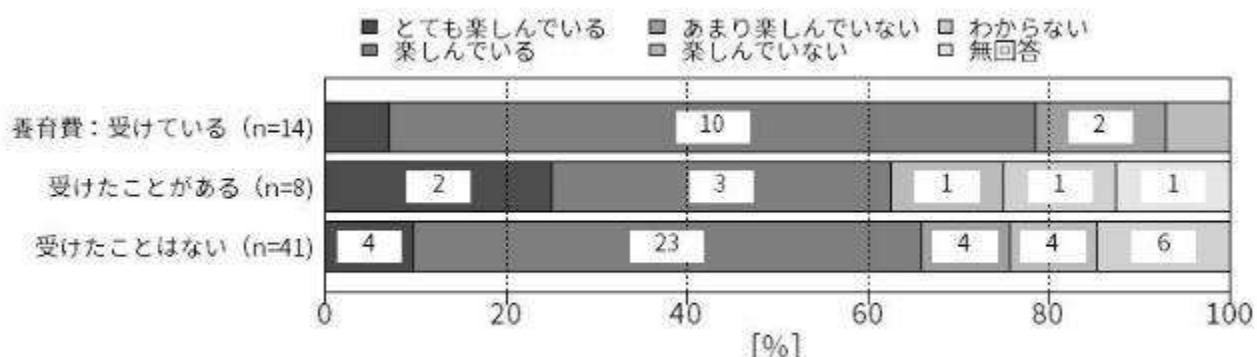
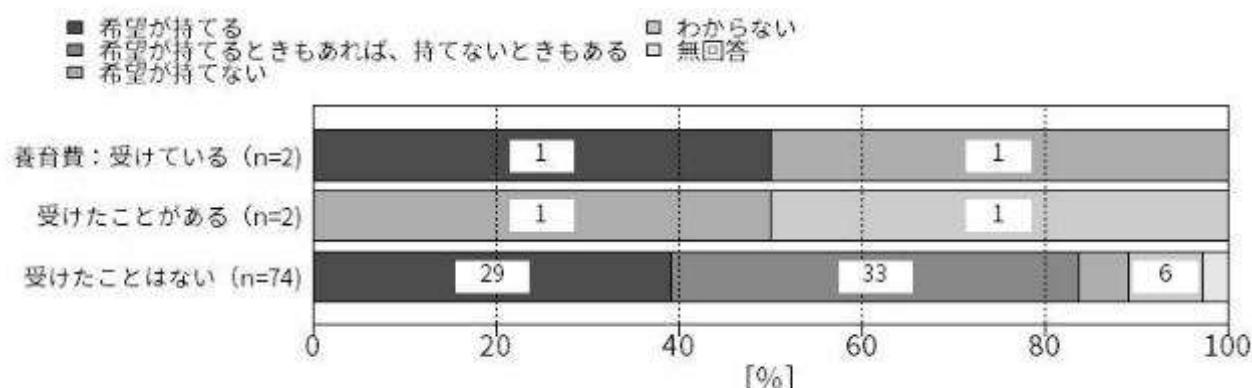


図86. 養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる
<母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望（問30-3-9×問36-2）<父子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

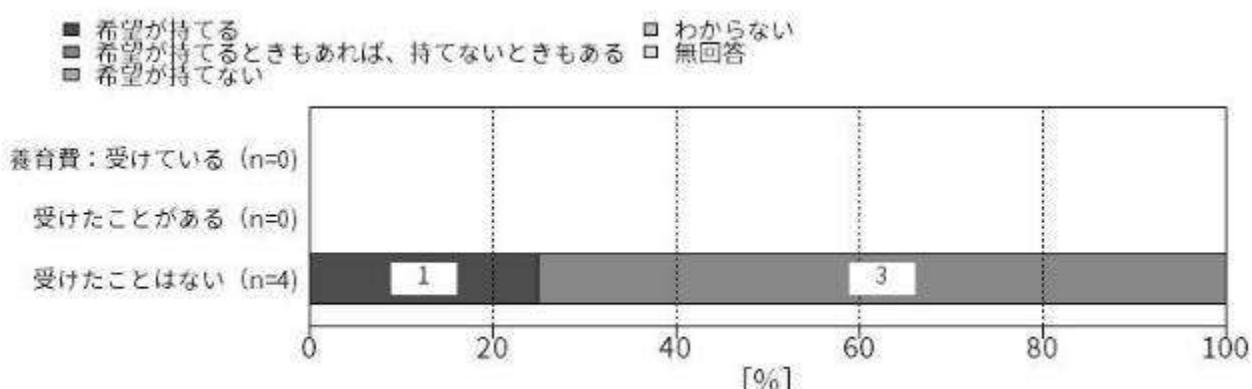
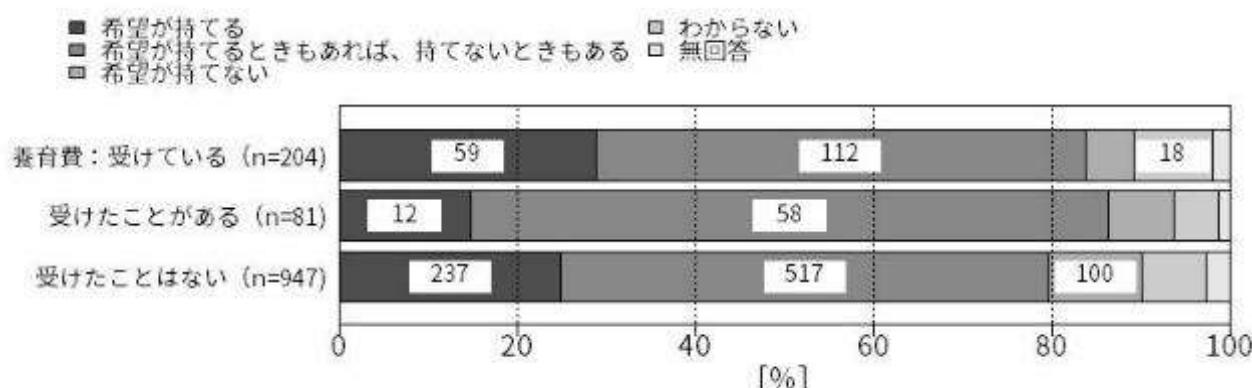


図87. 養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望
<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望（問30-3-9×問36-2）<母子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

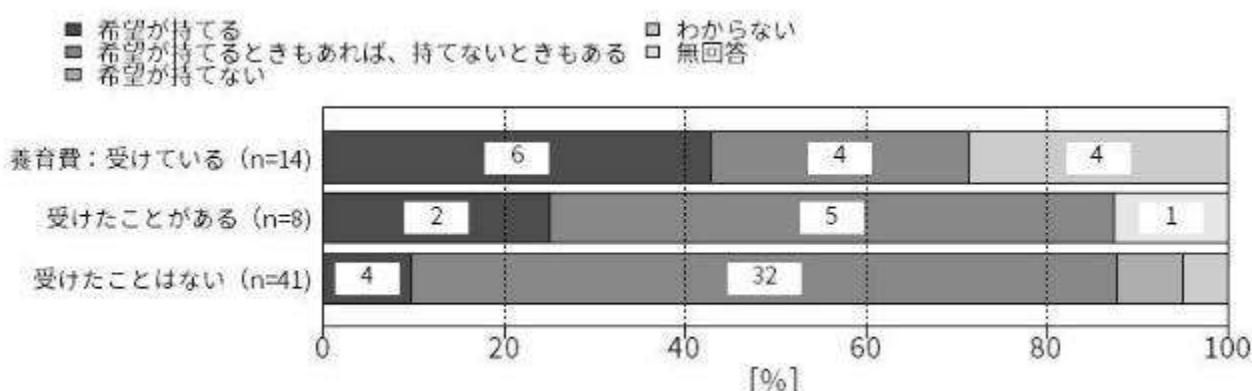
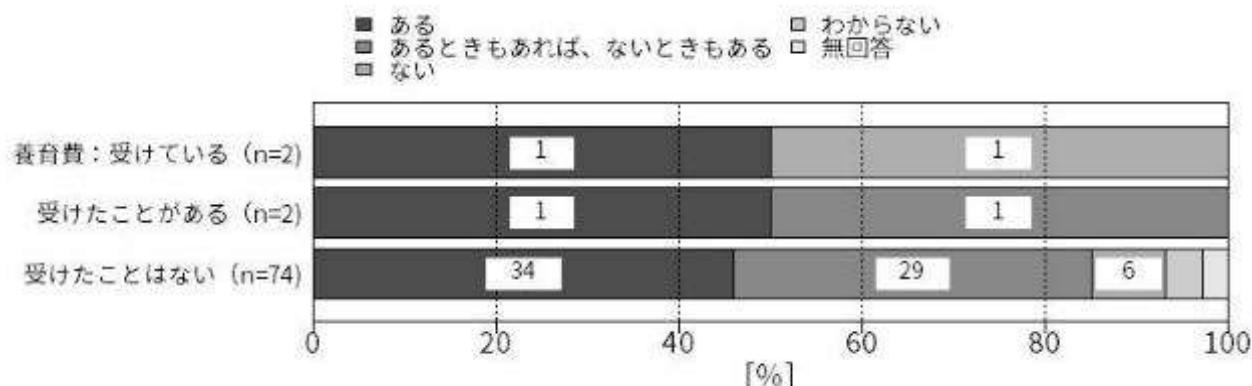


図88. 養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望
<母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）
 <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

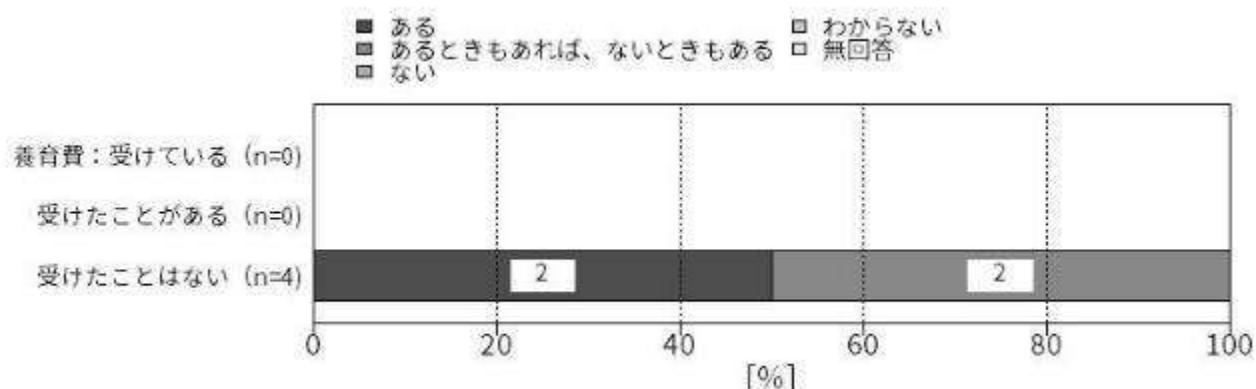
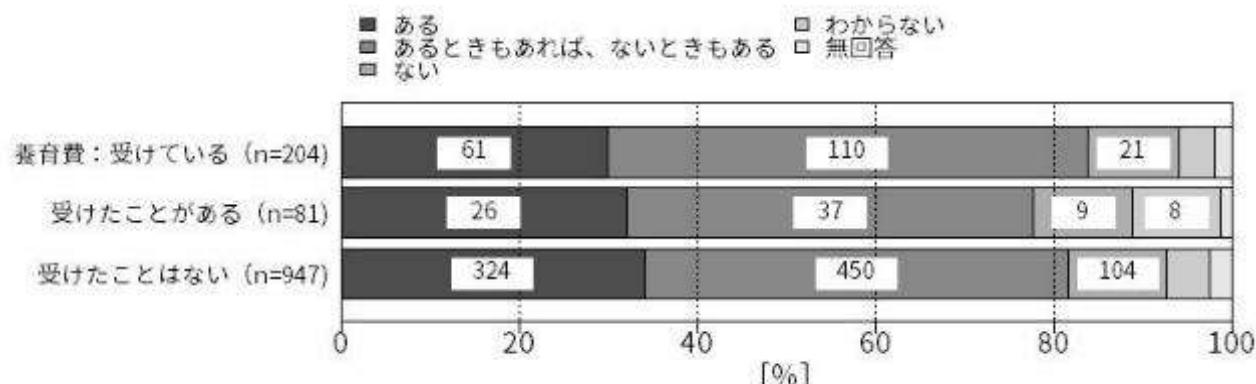


図 89. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの
 <父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）
 <母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市東住吉区>

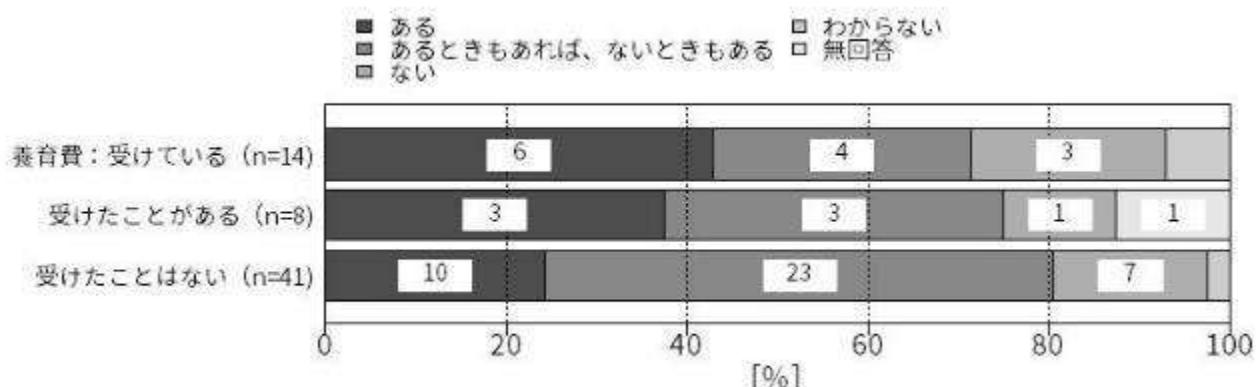
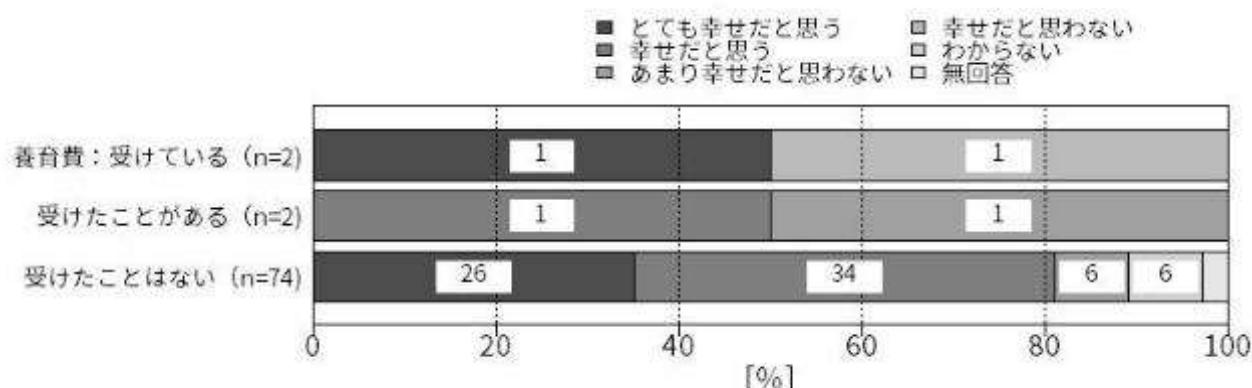


図 90. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの
 <母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないので、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（4）幸せだと思う（問30-3-9×問36-4）<父子世帯>

<大阪市24区>



<大阪市東住吉区>

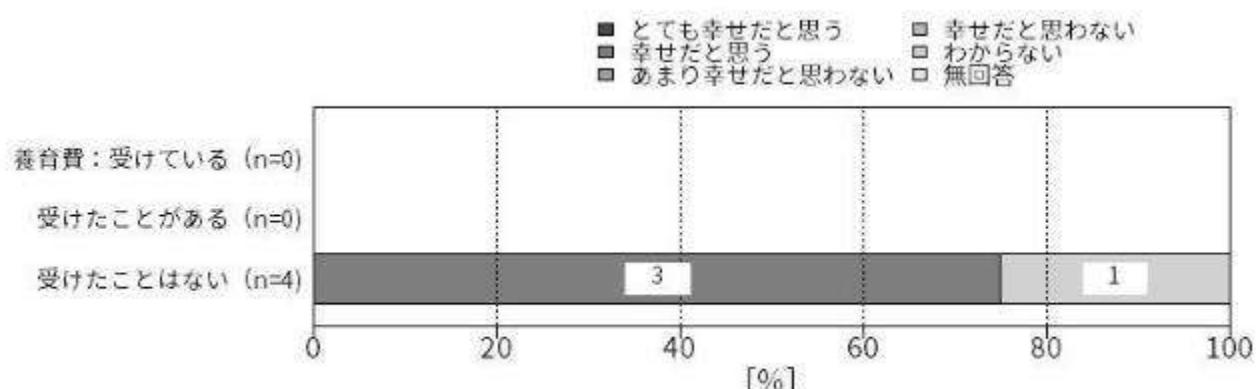


図91. 養育費の受給別に見た、心の状態（4）幸せだと思う
<父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。